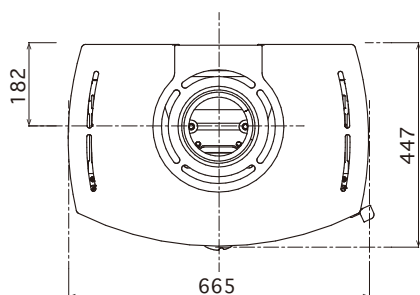


設置計画資料

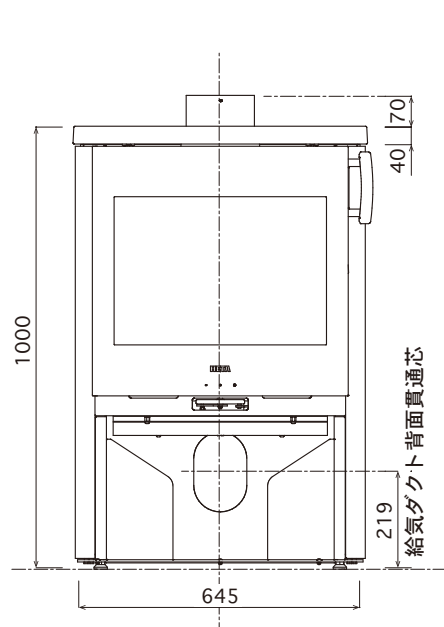


設置計画資料

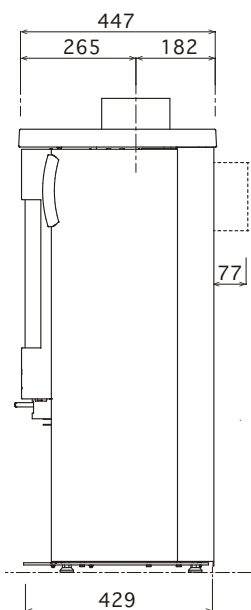
111 HETA : #7300 エクリプス



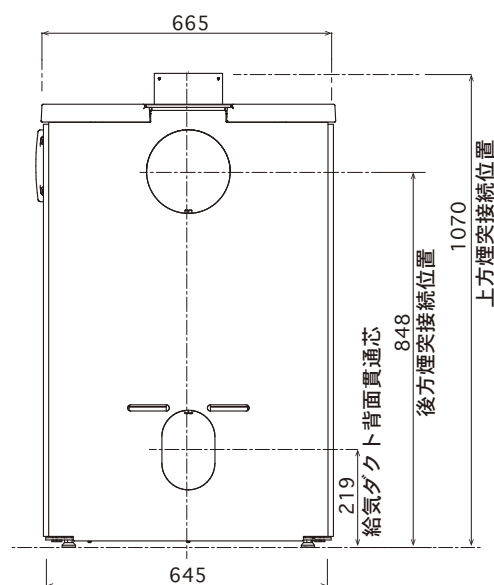
平面図



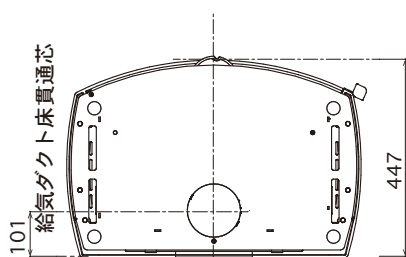
正面図



側面図



背面図



底面図

単位 : mm

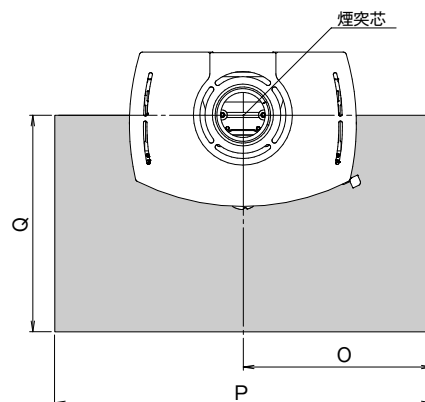
COPYRIGHT 2024.05 BY FIRESIDE COMPANY.LTD.

設置計画資料

111 HETA : #7300 エクリプス

2. 床の保護範囲

側方 O	幅 P	奥行き Q
533 以上	1066 以上	715 以上



3. 本体離隔距離

3-1 メーカー離隔距離

建築基準法施行令の内装制限により、壁、天井を木材等の可燃下地材に準不燃材の仕上げを施した場合、および平屋、最上階など内装制限の規制を受けず、壁の仕上げが木材等の可燃材である場合は下表に示された数値以上の離隔距離を設ける。仕上げと下地が不燃材料の場合は除外される。

壁仕上	煙突垂直接続					
	A	B	C	D	E	F
遮熱板なし	125	400	307	733	50※	390
遮熱板あり	125	150	307	483	50※	390

○ 遮熱板とは 25 mm 以上の空気層のある不燃材壁。

壁仕上	煙突水平接続	
	A	B
遮熱板なし	230	400
遮熱板あり	150	150

※コーナー設置 メーカー最小離隔距離

：実際の設置にあたっては、保守メンテナンスを考慮すること。

○ 煙突水平接続時は煙突水平距離 500 mm 以内とし、断熱二重煙突を使用する。

3-1-1 遮熱板寸法 (最小離隔距離)

壁に平行設置		コーナー 45°設置	
幅 (中心)	高さ (設置面より)	幅	高さ (設置面より)
916	1100	836	1100

前方：ストーブ前面より 1200。
上方：ストーブトップより 500。

3-2 告示 225 号離隔距離 (可燃物燃焼部分)

内装制限緩和の告示 225 号に従い、壁、天井を難燃材等 (木材含む) の仕上げを施した場合は、下表に示された数値以上の離隔距離を設ける。仕上げと下地が特定不燃材料の場合は除外される。

壁仕上	A	B	C	D	E	F
遮熱板なし	1297	1063	1479	1396	1063	1657
遮熱板あり	432	354	614	687	354	694

前方：ストーブ前面より 1957、遮熱板設置時 652。
上方：ストーブトップより 1150、遮熱板設置時 575。

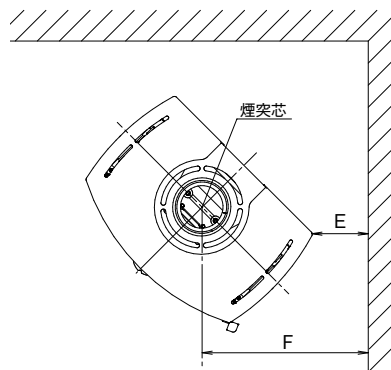
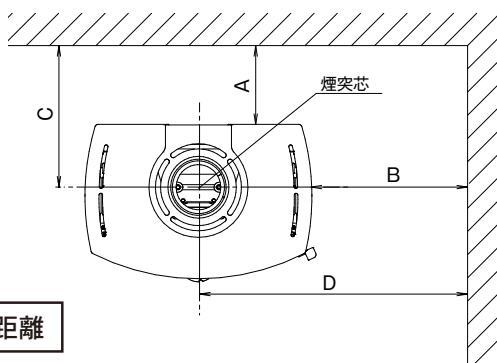
3-2-1 遮熱板寸法 (最小離隔距離)

壁に平行設置		コーナー 45°設置	
幅 (中心)	高さ (設置面より)	幅	高さ (設置面より)
2668	1748	1915	1748

4. 煙突離隔距離

壁仕上	室内煙突	煙突ヒートシールド付	断熱二重煙突
遮熱板なし	460	230	150
遮熱板あり	—	—	150
天井	460	—	150

○ 断熱二重煙突の離隔距離は、内側煙突からの寸法。
○ 最低煙突高さは、ストーブトップより 4m。



○ コーナー設置時は煙突を垂直のみの接続とする。

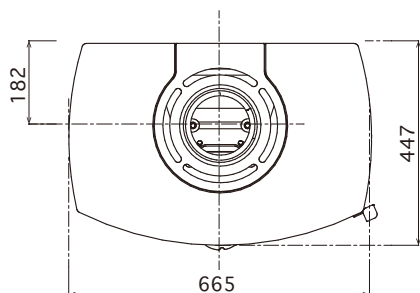
本体離隔距離

単位：mm

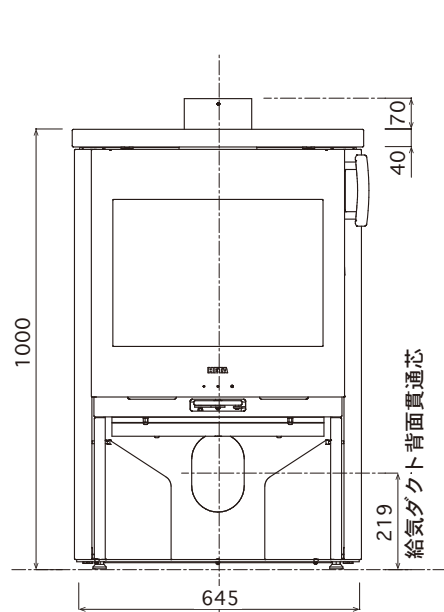
COPYRIGHT 2024.05 BY FIRESIDE COMPANY.LTD.

設置計画資料

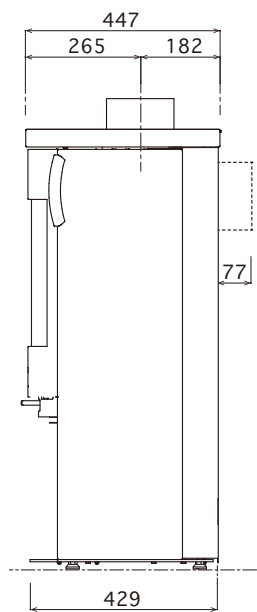
111 HETA : #7308 エクリプス ソープストーン



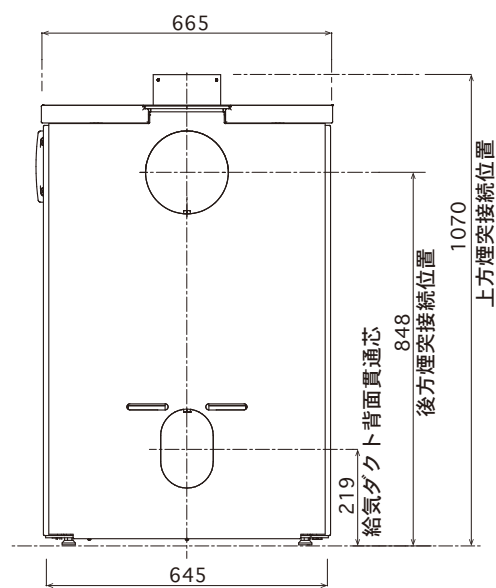
平面図



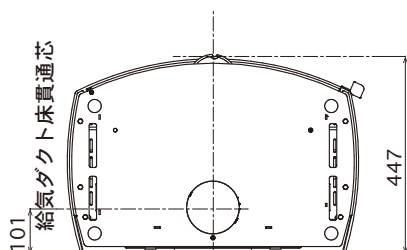
正面図



側面図



背面図



底面図

単位 : mm

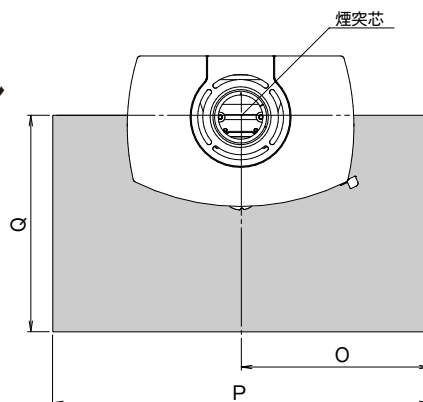
COPYRIGHT 2024.05 BY FIRESIDE COMPANY.LTD.

設置計画資料

111 HETA : #7308 エクリプス ソープストーン

2. 床の保護範囲

側方 O	幅 P	奥行き Q
533 以上	1066 以上	715 以上



3. 本体離隔距離

3-1 メーカー離隔距離

建築基準法施行令の内装制限により、壁、天井を木材等の可燃下地材に準不燃材の仕上げを施した場合、および平屋、最上階など内装制限の規制を受けず、壁の仕上げが木材等の可燃材である場合は下表に示された数値以上の離隔距離を設ける。仕上げと下地が不燃材料の場合は除外される。

壁仕上	煙突垂直接続					
	A	B	C	D	E	F
遮熱板なし	125	400	307	733	50※	390
遮熱板あり	125	150	307	483	50※	390

○ 遮熱板とは 25 mm 以上の空気層のある不燃材壁。

壁仕上	煙突水平接続	
	A	B
遮熱板なし	230	400
遮熱板あり	150	150

※コーナー設置 メーカー最小離隔距離

：実際の設置にあたっては、保守メンテナンスを考慮すること。

○ 煙突水平接続時は煙突水平距離 500 mm 以内とし、断熱二重煙突を使用する。

3-1-1 遮熱板寸法 (最小離隔距離)

壁に平行設置		コーナー 45°設置	
幅 (中心)	高さ (設置面より)	幅	高さ (設置面より)
916	1100	836	1100

前方：ストーブ前面より 1200。
上方：ストーブトップより 500。

3-2 告示 225 号離隔距離 (可燃物燃焼部分)

内装制限緩和の告示 225 号に従い、壁、天井を難燃材等 (木材含む) の仕上げを施した場合は、下表に示された数値以上の離隔距離を設ける。仕上げと下地が特定不燃材料の場合は除外される。

壁仕上	A	B	C	D	E	F
遮熱板なし	1297	1063	1479	1396	1063	1657
遮熱板あり	432	354	614	687	354	694

前方：ストーブ前面より 1957、遮熱板設置時 652。
上方：ストーブトップより 1150、遮熱板設置時 575。

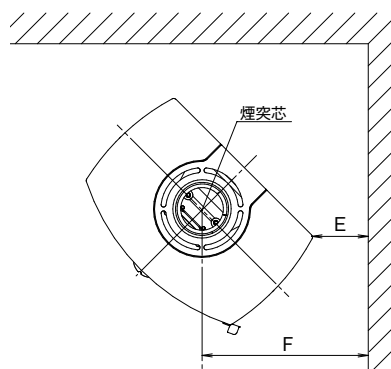
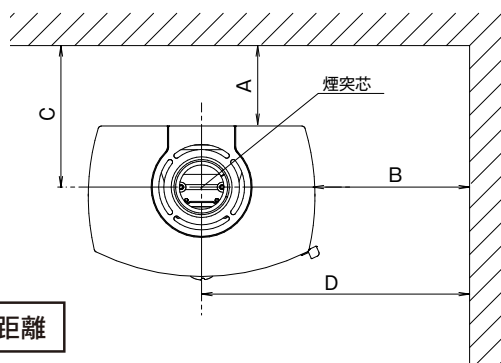
3-2-1 遮熱板寸法 (最小離隔距離)

壁に平行設置		コーナー 45°設置	
幅 (中心)	高さ (設置面より)	幅	高さ (設置面より)
2668	1748	1915	1748

4. 煙突離隔距離

壁仕上	室内煙突	煙突ヒートシールド付	断熱二重煙突
遮熱板なし	460	230	150
遮熱板あり	—	—	150
天井	460	—	150

○ 断熱二重煙突の離隔距離は、内側煙突からの寸法。
○ 最低煙突高さは、ストーブトップより 4m。



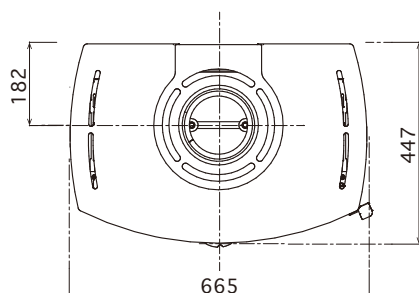
○ コーナー設置時は煙突を垂直のみの接続とする。

単位：mm

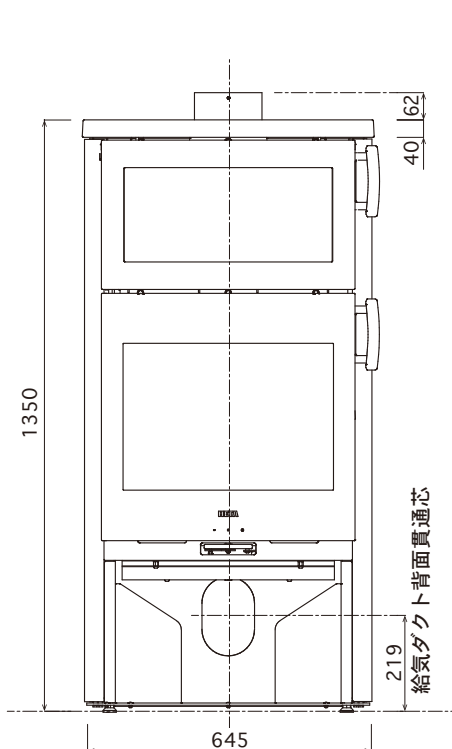
COPYRIGHT 2024.05 BY FIRESIDE COMPANY.LTD.

設置計画資料

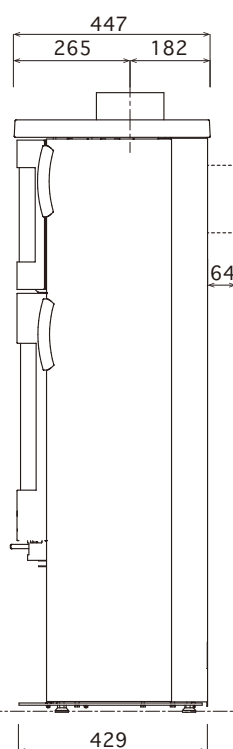
111 HETA : #7310 エクリプス オープン



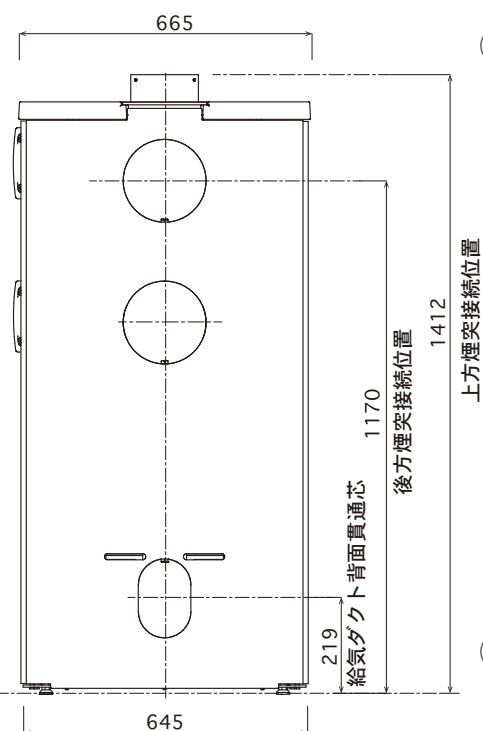
平面図



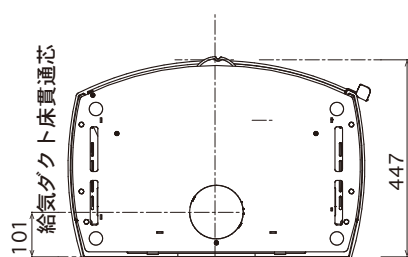
正面図



側面図



背面図



底面図

単位 : mm

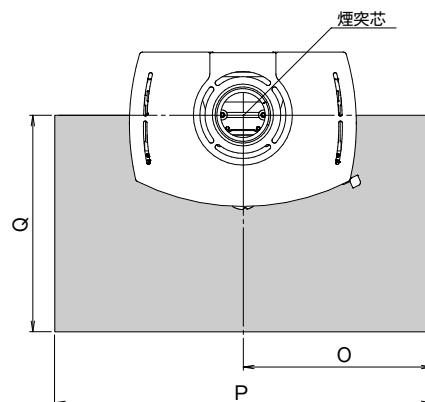
COPYRIGHT 2024.05 BY FIRESIDE COMPANY.LTD.

設置計画資料

111 HETA : #7310 エクリプス オープン

2. 床の保護範囲

側方 O	幅 P	奥行き Q
533 以上	1066 以上	715 以上



3. 本体離隔距離

3-1 メーカー離隔距離

建築基準法施行令の内装制限により、壁、天井を木材等の可燃下地材に準不燃材の仕上げを施した場合、および平屋、最上階など内装制限の規制を受けず、壁の仕上げが木材等の可燃材である場合は下表に示された数値以上の離隔距離を設ける。仕上げと下地が不燃材料の場合は除外される。

壁仕上	煙突垂直接続					
	A	B	C	D	E	F
遮熱板なし	125	400	307	733	50※	390
遮熱板あり	125	150	307	483	50※	390

○ 遮熱板とは 25 mm 以上の空気層のある不燃材壁。

壁仕上	煙突水平接続	
	A	B
遮熱板なし	230	400
遮熱板あり	150	150

※コーナー設置 メーカー最小離隔距離

：実際の設置にあたっては、保守メンテナンスを考慮すること。

○ 煙突水平接続時は煙突水平距離 500 mm 以内とし、断熱二重煙突を使用する。

3-1-1 遮熱板寸法 (最小離隔距離)

壁に平行設置		コーナー 45°設置	
幅 (中心)	高さ (設置面より)	幅	高さ (設置面より)
916	1450	836	1450

前方：ストーブ前面より 1200。
上方：ストーブトップより 500。

3-2 告示 225 号離隔距離 (可燃物燃焼部分)

内装制限緩和の告示 225 号に従い、壁、天井を難燃材等 (木材含む) の仕上げを施した場合は、下表に示された数値以上の離隔距離を設ける。仕上げと下地が特定不燃材料の場合は除外される。

壁仕上	A	B	C	D	E	F
遮熱板なし	1507	1235	1689	1568	1235	1867
遮熱板あり	502	412	684	745	412	752

前方：ストーブ前面より 2274、遮熱板設置時 758。
上方：ストーブトップより 1150、遮熱板設置時 575。

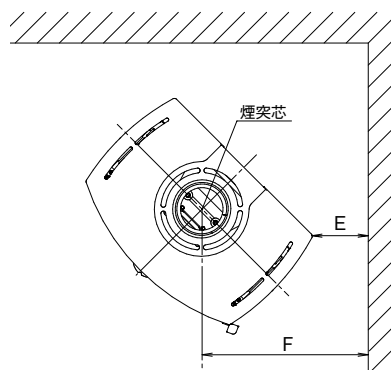
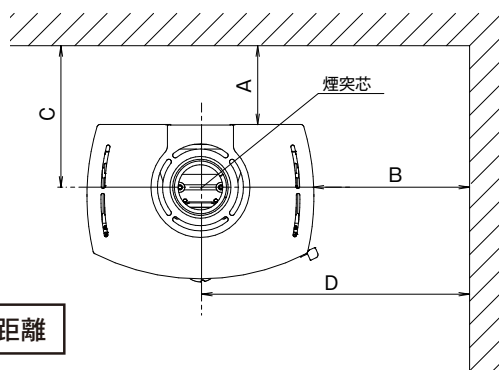
3-2-1 遮熱板寸法 (最小離隔距離)

壁に平行設置		コーナー 45°設置	
幅 (中心)	高さ (設置面より)	幅	高さ (設置面より)
3012	2099	2154	2099

4. 煙突離隔距離

壁仕上	室内煙突	煙突ヒートシールド付	断熱二重煙突
遮熱板なし	460	230	150
遮熱板あり	—	—	150
天井	460	—	150

○ 断熱二重煙突の離隔距離は、内側煙突からの寸法。
○ 最低煙突高さは、ストーブトップより 4m。



○ コーナー設置時は煙突を垂直のみの接続とする。

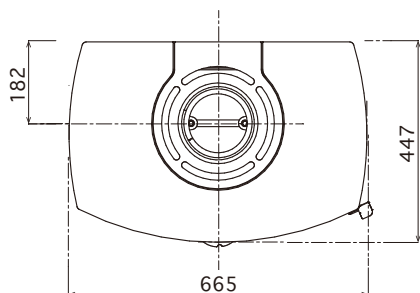
本体離隔距離

単位：mm

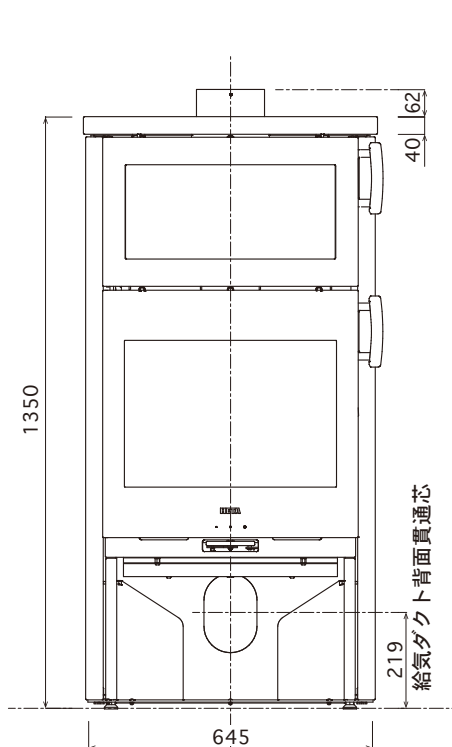
COPYRIGHT 2024.05 BY FIRESIDE COMPANY.LTD.

設置計画資料

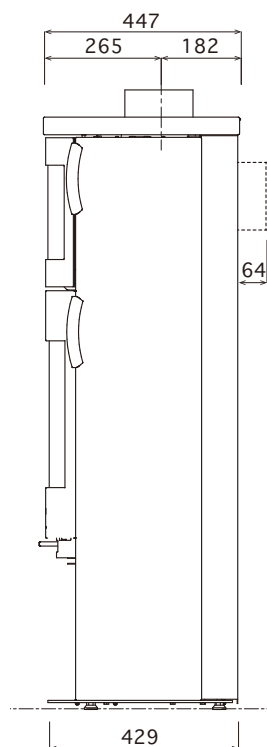
111 HETA : #7318 エクリプス ソープストーン+オープン



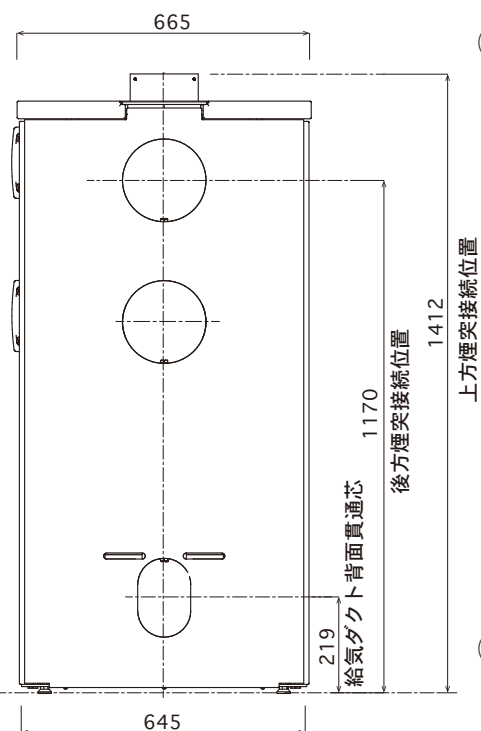
平面図



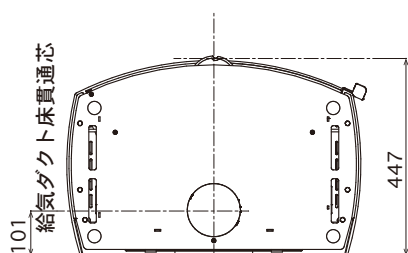
正面図



側面図



背面図



底面図

単位 : mm

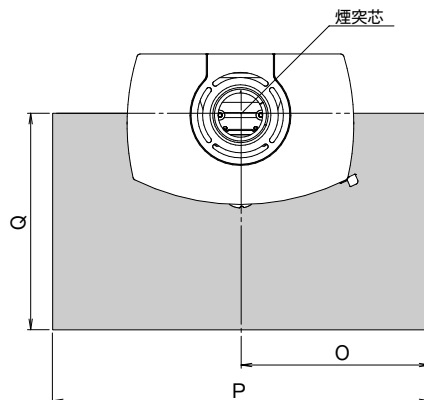
COPYRIGHT 2024.05 BY FIRESIDE COMPANY.LTD.

設置計画資料

111 HETA : #7318 エクリプス ソープストーン +オープン

2. 床の保護範囲

側方 O	幅 P	奥行き Q
533 以上	1066 以上	715 以上



3. 本体離隔距離

3-1 メーカー離隔距離

建築基準法施行令の内装制限により、壁、天井を木材等の可燃下地材に準不燃材の仕上げを施した場合、および平屋、最上階など内装制限の規制を受けず、壁の仕上げが木材等の可燃材である場合は下表に示された数値以上の離隔距離を設ける。仕上げと下地が不燃材料の場合は除外される。

壁仕上	煙突垂直接続					
	A	B	C	D	E	F
遮熱板なし	125	400	307	733	50※	390
遮熱板あり	125	150	307	483	50※	390

○ 遮熱板とは 25 mm 以上の空気層のある不燃材壁。

壁仕上	煙突水平接続	
	A	B
遮熱板なし	230	400
遮熱板あり	150	150

※コーナー設置 メーカー最小離隔距離

：実際の設置にあたっては、保守メンテナンスを考慮すること。

○ 煙突水平接続時は煙突水平距離 500 mm 以内とし、断熱二重煙突を使用する。

3-1-1 遮熱板寸法 (最小離隔距離)

壁に平行設置		コーナー 45°設置	
幅 (中心)	高さ (設置面より)	幅	高さ (設置面より)
916	1450	836	1450

前方：ストーブ前面より 1200。

上方：ストーブトップより 500。

3-2 告示 225 号離隔距離 (可燃物燃焼部分)

内装制限緩和の告示 225 号に従い、壁、天井を難燃材等 (木材含む) の仕上げを施した場合は、下表に示された数値以上の離隔距離を設ける。仕上げと下地が特定不燃材料の場合は除外される。

壁仕上	A	B	C	D	E	F
遮熱板なし	1507	1235	1689	1568	1235	1867
遮熱板あり	502	412	684	745	412	752

前方：ストーブ前面より 2274、遮熱板設置時 758。

上方：ストーブトップより 1150、遮熱板設置時 575。

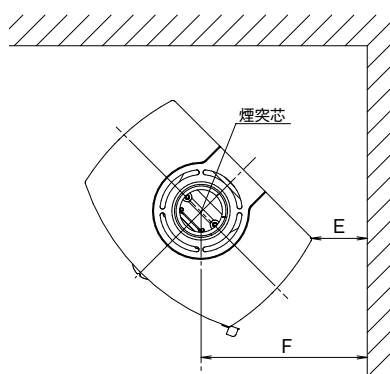
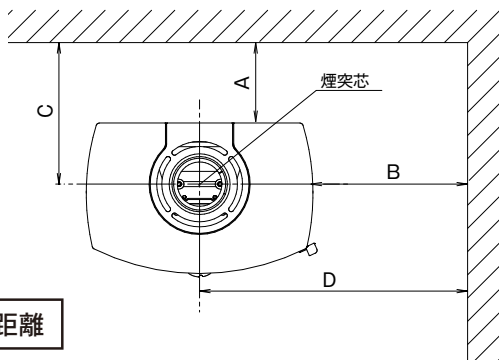
3-2-1 遮熱板寸法 (最小離隔距離)

壁に平行設置		コーナー 45°設置	
幅 (中心)	高さ (設置面より)	幅	高さ (設置面より)
3012	2099	2154	2099

4. 煙突離隔距離

壁仕上	室内煙突	煙突ヒートシールド付	断熱二重煙突
遮熱板なし	460	230	150
遮熱板あり	—	—	150
天井	460	—	150

○ 断熱二重煙突の離隔距離は、内側煙突からの寸法。
○ 最低煙突高さは、ストーブトップより 4m。



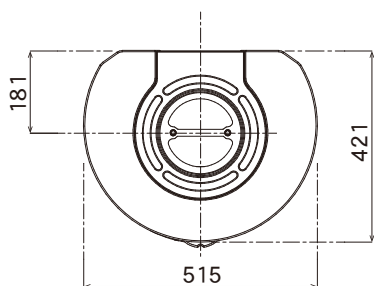
○ コーナー設置時は煙突を垂直のみの接続とする。

単位：mm

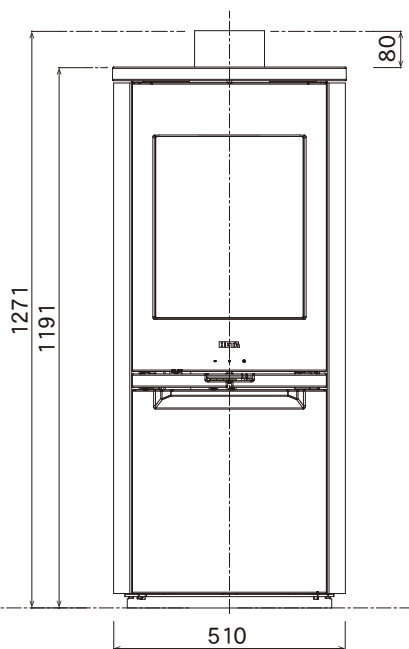
COPYRIGHT 2024.05 BY FIRESIDE COMPANY.LTD.

設置計画資料

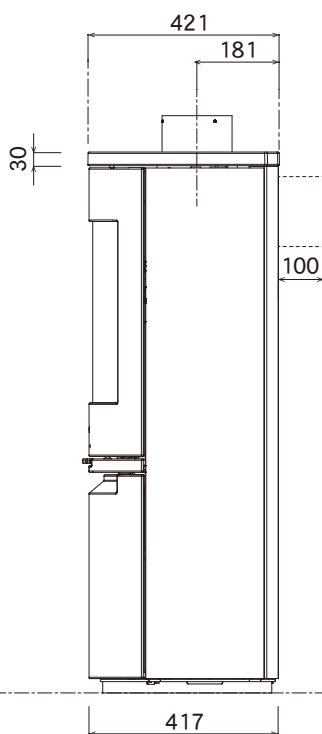
111 HETA : #9000 スクルド



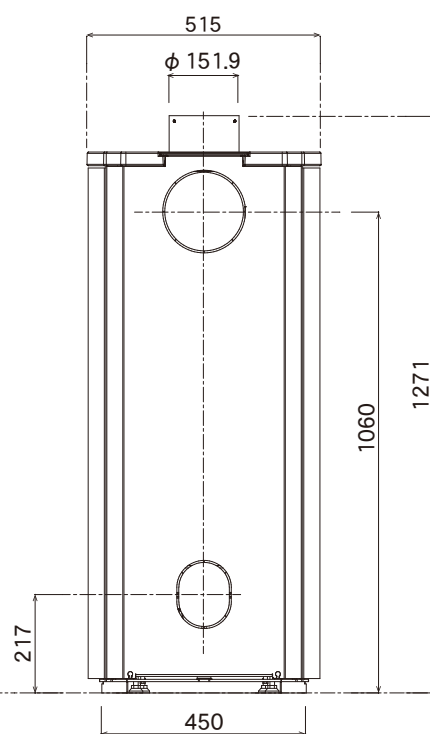
平面図



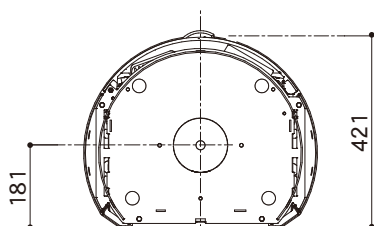
正面図



側面図



背面図



底面図

設置計画資料

単位 : mm

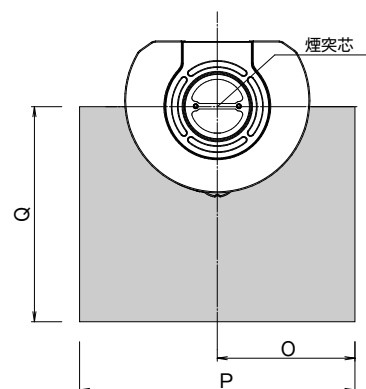
COPYRIGHT 2024.05 BY FIRESIDE COMPANY.LTD.

設置計画資料

111 HETA : #9000 スクルド

2. 床の保護範囲

側方 O	幅 P	奥行き Q
458 以上	916 以上	690 以上



3. 本体離隔距離

3-1 メーカー離隔距離

建築基準法施行令の内装制限により、壁、天井を木材等の可燃下地材に準不燃材の仕上げを施した場合、および平屋、最上階など内装制限の規制を受けず、壁の仕上げが木材等の可燃材である場合は下表に示された数値以上の離隔距離を設ける。仕上げと下地が不燃材料の場合は除外される。

壁仕上	煙突垂直接続					
	A	B	C	D	E	F
遮熱板なし	175	350	356	608	200	462
遮熱板あり	150	150	331	408	150	413

○ 遮熱板とは 25 mm 以上の空気層のある不燃材壁。

壁仕上	煙突水平接続	
	A	B
遮熱板なし	300	350
遮熱板あり	150	150

○ 煙突水平接続時は煙突水平距離 500 mm 以内とし、断熱二重煙突を使用する。

3-1-1 遮熱板寸法 (最小離隔距離)

壁に平行設置		コーナー 45°設置	
幅 (中心)	高さ (設置面より)	幅	高さ (設置面より)
766	1291	880	1291

前方 : ストープ前面より 1000。
上方 : ストープトップより 750。

3-2 告示 225 号離隔距離 (可燃物燃焼部分)

内装制限緩和の告示 225 号に従い、壁、天井を難燃材等 (木材含む) の仕上げを施した場合は、下表に示された数値以上の離隔距離を設ける。仕上げと下地が特定不燃材料の場合は除外される。

壁仕上	A	B	C	D	E	F
遮熱板なし	1237	1119	1418	1377	1119	1381
遮熱板あり	412	373	593	631	373	635

前方 : ストープ前面より 1868、遮熱板設置時 623。
上方 : ストープトップより 929、遮熱板設置時 464。

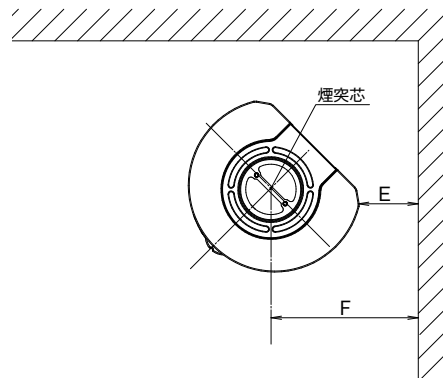
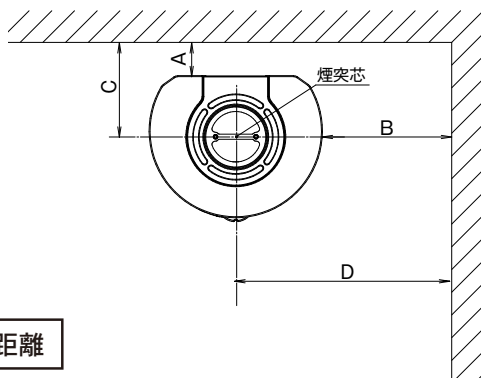
3-2-1 遮熱板寸法 (最小離隔距離)

壁に平行設置		コーナー 45°設置	
幅 (中心)	高さ (設置面より)	幅	高さ (設置面より)
2618	1793	1883	1793

4. 煙突離隔距離

壁仕上	室内煙突	煙突ヒートシールド付	断熱二重煙突
遮熱板なし	460	230	150
遮熱板あり	—	—	150
天井	460	—	150

○ 断熱二重煙突の離隔距離は、内側煙突からの寸法。
○ 最低煙突高さは、ストープトップより 4m。



○ コーナー設置時は煙突を垂直のみの接続とする。

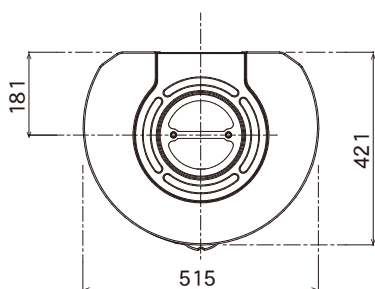
本体離隔距離

単位 : mm

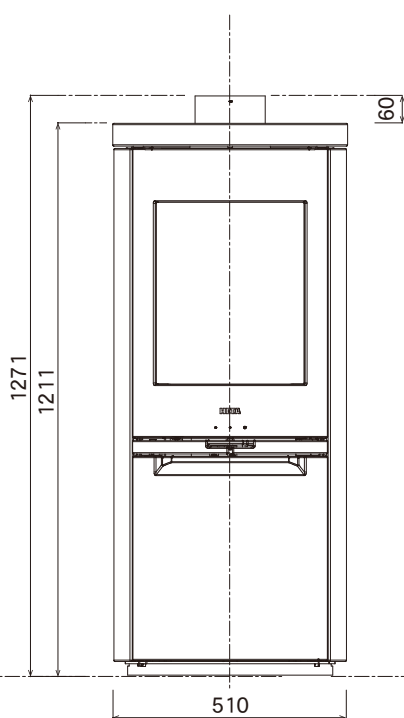
COPYRIGHT 2024.05 BY FIRESIDE COMPANY.LTD.

設置計画資料

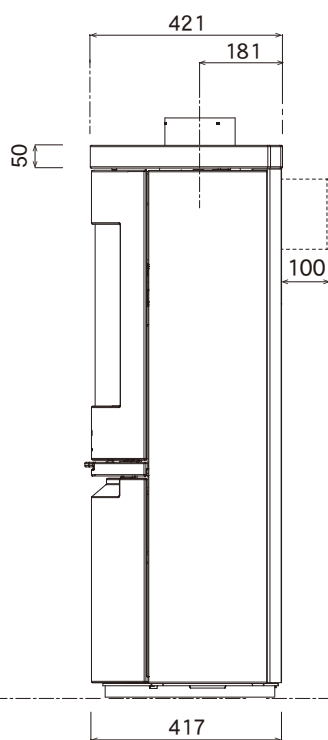
111 HETA : #9007 スクルド ブラックウッド
HETA : #9008 スクルド ソープストーン



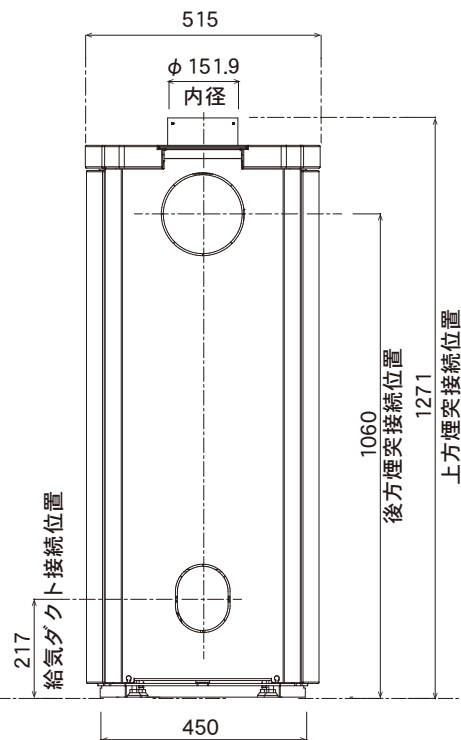
平面図



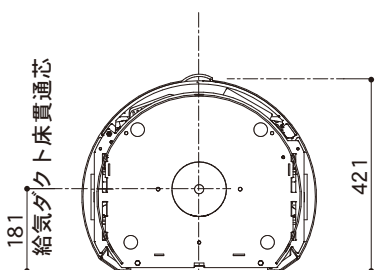
正面図



側面図



背面図



底面図

単位 : mm

COPYRIGHT 2024.05 BY FIRESIDE COMPANY.LTD.

設置計画資料

111 HETA : #9007 スクルド ブラックウッド HETA : #9008 スクルド ソープストーン

2. 床の保護範囲

側方 O	幅 P	奥行き Q
458 以上	916 以上	690 以上

3. 本体離隔距離

3-1 メーカー離隔距離

建築基準法施行令の内装制限により、壁、天井を木材等の可燃下地材に準不燃材の仕上げを施した場合、および平屋、最上階など内装制限の規制を受けず、壁の仕上げが木材等の可燃材である場合は下表に示された数値以上の離隔距離を設ける。仕上げと下地が不燃材料の場合は除外される。

壁仕上	煙突垂直接続					
	A	B	C	D	E	F
遮熱板なし	175	350	356	608	200	462
遮熱板あり	150	150	331	408	150	413

○ 遮熱板とは 25 mm 以上の空気層のある不燃材壁。

壁仕上	煙突水平接続	
	A	B
遮熱板なし	300	350
遮熱板あり	150	150

○ 煙突水平接続時は煙突水平距離 500 mm 以内とし、断熱二重煙突を使用する。

3-2 告示 225 号離隔距離（可燃物燃焼部分）

内装制限緩和の告示 225 号に従い、壁、天井を難燃材等（木材含む）の仕上げを施した場合は、下表に示された数値以上の離隔距離を設ける。仕上げと下地が特定不燃材料の場合は除外される。

壁仕上	A	B	C	D	E	F
遮熱板なし	1243	1124	1424	1382	1124	1386
遮熱板あり	414	375	595	633	375	637

前方：ストーブ前面より 1876、遮熱板設置時 625。
上方：ストーブトップより 929、遮熱板設置時 464。

3-1-1 遮熱板寸法（最小離隔距離）

壁に平行設置		コーナー 45°設置	
幅（中心）	高さ（設置面より）	幅	高さ（設置面より）
766	1311	880	1311

前方：ストーブ前面より 1000。
上方：ストーブトップより 750。

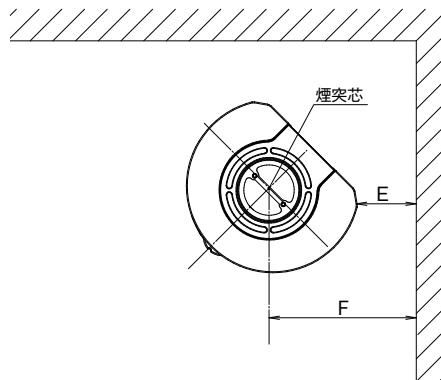
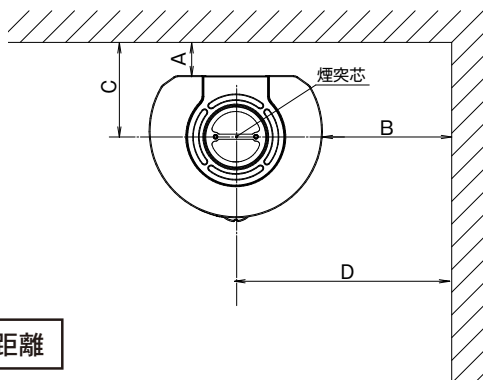
3-2-1 遮熱板寸法（最小離隔距離）

壁に平行設置		コーナー 45°設置	
幅（中心）	高さ（設置面より）	幅	高さ（設置面より）
2628	1812	1890	1812

4. 煙突離隔距離

壁仕上	室内煙突	煙突ヒートシールド付	断熱二重煙突
遮熱板なし	460	230	150
遮熱板あり	—	—	150
天井	460	—	150

○ 断熱二重煙突の離隔距離は、内側煙突からの寸法。
○ 最低煙突高さは、ストーブトップより 4m。



○ コーナー設置時は煙突を垂直のみの接続とする。

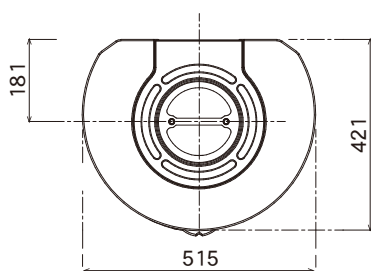
本体離隔距離

単位：mm

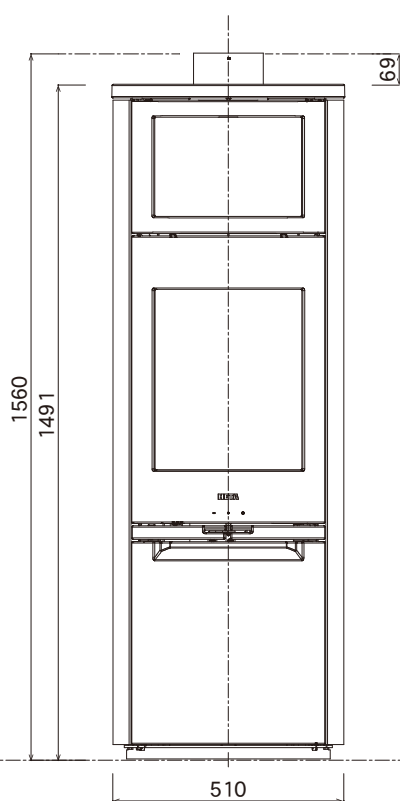
COPYRIGHT 2024.05 BY FIRESIDE COMPANY.LTD.

設置計画資料

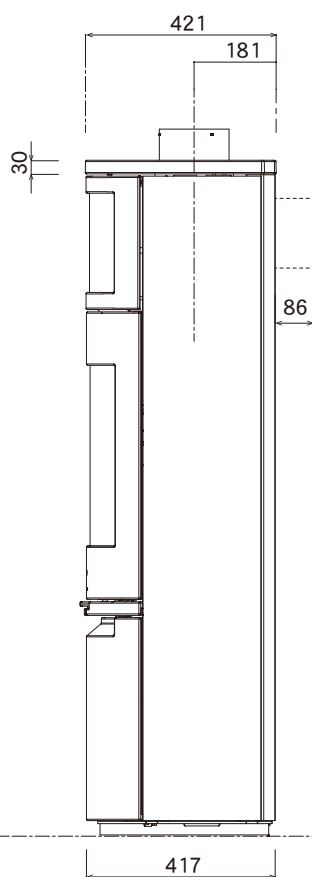
111 HETA : #9010 スクルド オープン



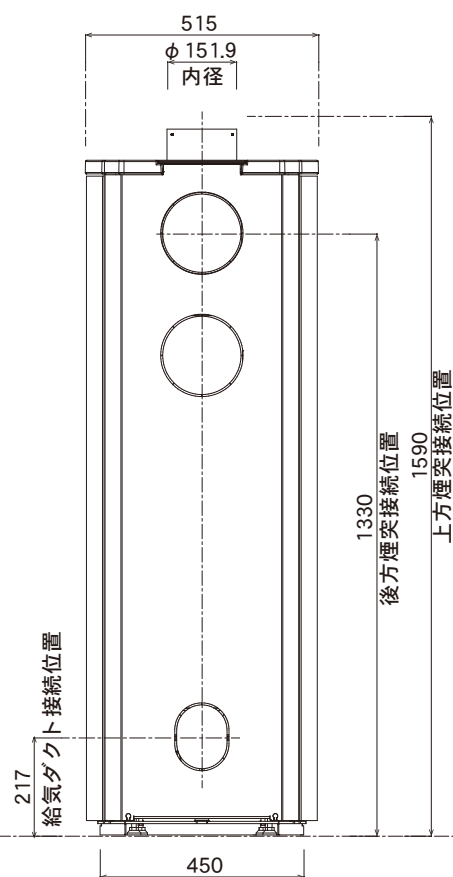
平面図



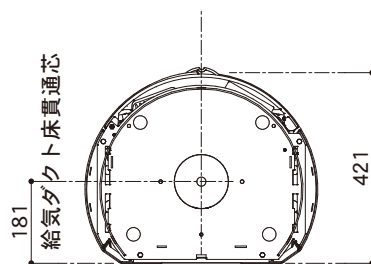
正面図



側面図



背面図



底面図

設置計画資料

単位 : mm

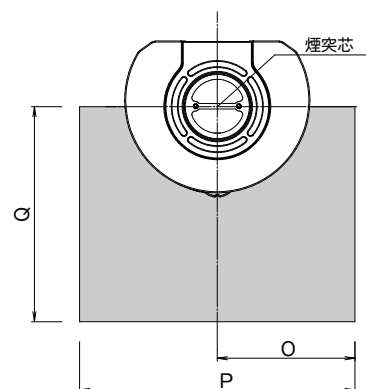
COPYRIGHT 2024.05 BY FIRESIDE COMPANY.LTD.

設置計画資料

111 HETA : #9010 スクルド オープン

2. 床の保護範囲

側方 O	幅 P	奥行き Q
458 以上	916 以上	690 以上



3. 本体離隔距離

3-1 メーカー離隔距離

建築基準法施行令の内装制限により、壁、天井を木材等の可燃下地材に準不燃材の仕上げを施した場合、および平屋、最上階など内装制限の規制を受けず、壁の仕上げが木材等の可燃材である場合は下表に示された数値以上の離隔距離を設ける。仕上げと下地が不燃材料の場合は除外される。

壁仕上	煙突垂直接続					
	A	B	C	D	E	F
遮熱板なし	175	350	356	608	200	462
遮熱板あり	150	150	331	408	150	413

○ 遮熱板とは 25 mm 以上の空気層のある不燃材壁。

壁仕上	煙突水平接続	
	A	B
遮熱板なし	285	350
遮熱板あり	150	150

○ 煙突水平接続時は煙突水平距離 500 mm 以内とし、断熱二重煙突を使用する。

3-1-1 遮熱板寸法 (最小離隔距離)

壁に平行設置		コーナー 45°設置	
幅 (中心)	高さ (設置面より)	幅	高さ (設置面より)
766	1591	880	1591

前方 : ストープ前面より 1000。
上方 : ストープトップより 750。

3-2 告示 225 号離隔距離 (可燃物燃焼部分)

内装制限緩和の告示 225 号に従い、壁、天井を難燃材等 (木材含む) の仕上げを施した場合は、下表に示された数値以上の離隔距離を設ける。仕上げと下地が特定不燃材料の場合は除外される。

壁仕上	A	B	C	D	E	F
遮熱板なし	1385	1252	1566	1510	1252	1514
遮熱板あり	462	417	643	675	417	679

前方 : ストープ前面より 2090、遮熱板設置時 697。
上方 : ストープトップより 929、遮熱板設置時 464。

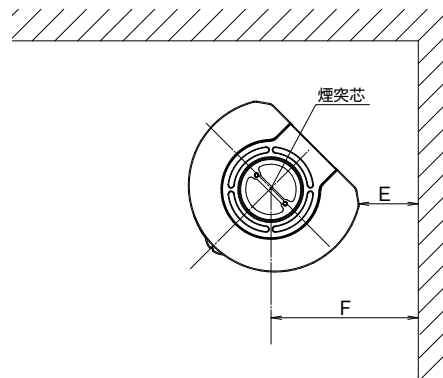
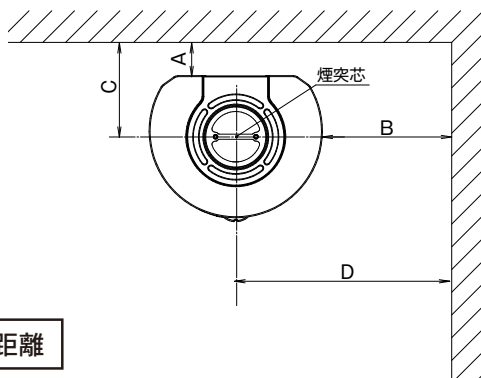
3-2-1 遮熱板寸法 (最小離隔距離)

壁に平行設置		コーナー 45°設置	
幅 (中心)	高さ (設置面より)	幅	高さ (設置面より)
2884	2094	2068	2094

4. 煙突離隔距離

壁仕上	室内煙突	煙突ヒートシールド付	断熱二重煙突
遮熱板なし	460	230	150
遮熱板あり	—	—	150
天井	460	—	150

○ 断熱二重煙突の離隔距離は、内側煙突からの寸法。
○ 最低煙突高さは、ストープトップより 4m。



○ コーナー設置時は煙突を垂直のみの接続とする。

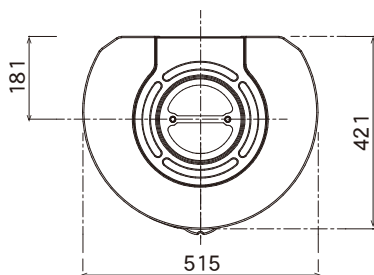
本体離隔距離

単位 : mm

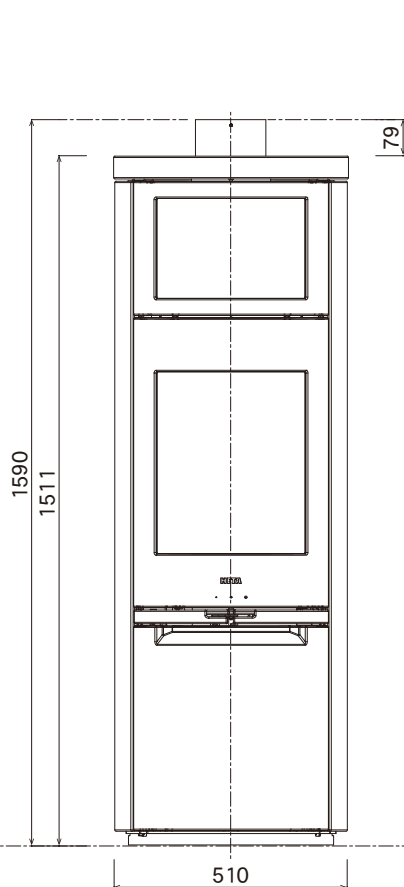
COPYRIGHT 2024.05 BY FIRESIDE COMPANY.LTD.

設置計画資料

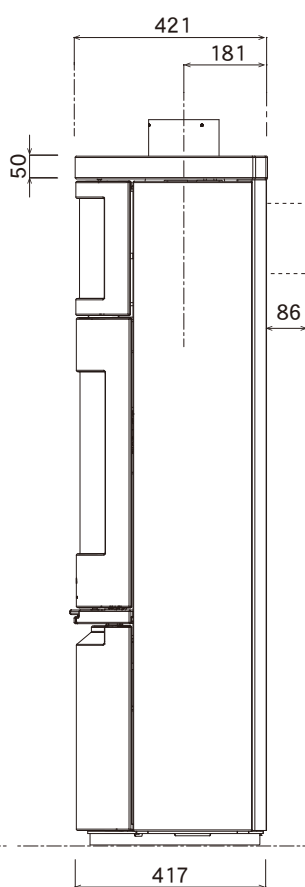
111 HETA : #9017 スクルド ブラックウッド+オープン
HETA : #9018 スクルド ソープストーン+オープン



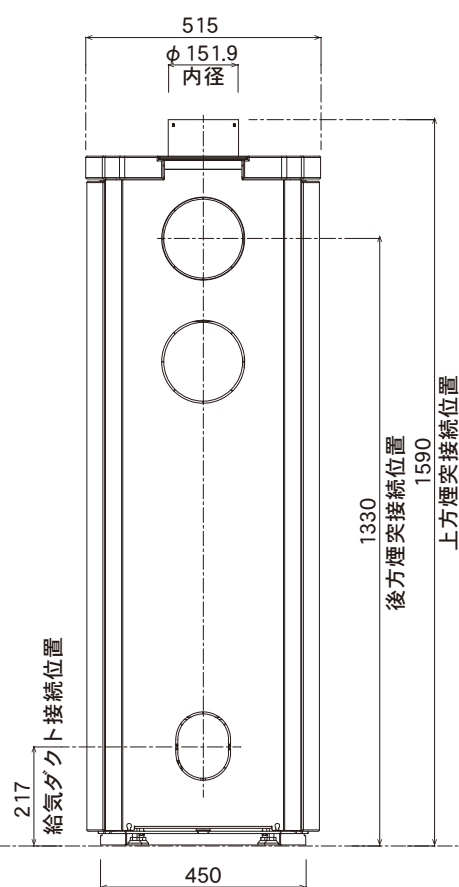
平面図



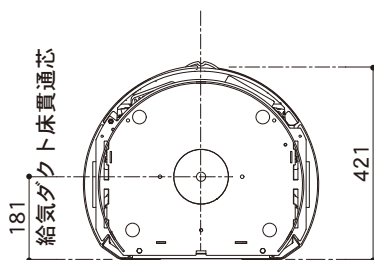
正面図



側面図



背面図



底面図

単位 : mm

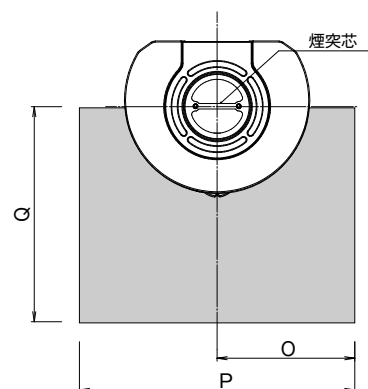
COPYRIGHT 2024.05 BY FIRESIDE COMPANY.LTD.

設置計画資料

111 HETA : #9017 スクルド ブラックウッド+オープン HETA : #9018 スクルド ソープストーン+オープン

2. 床の保護範囲

側方 O	幅 P	奥行き Q
458 以上	916 以上	690 以上



3. 本体離隔距離

3-1 メーカー離隔距離

建築基準法施行令の内装制限により、壁、天井を木材等の可燃下地材に準不燃材の仕上げを施した場合、および平屋、最上階など内装制限の規制を受けず、壁の仕上げが木材等の可燃材である場合は下表に示された数値以上の離隔距離を設ける。仕上げと下地が不燃材料の場合は除外される。

壁仕上	煙突垂直接続					
	A	B	C	D	E	F
遮熱板なし	175	350	356	608	200	462
遮熱板あり	150	150	331	408	150	413

○ 遮熱板とは 25 mm 以上の空気層のある不燃材壁。

壁仕上	煙突水平接続	
	A	B
遮熱板なし	285	350
遮熱板あり	150	150

○ 煙突水平接続時は煙突水平距離 500 mm 以内とし、断熱二重煙突を使用する。

3-1-1 遮熱板寸法 (最小離隔距離)

壁に平行設置		コーナー 45°設置	
幅 (中心)	高さ (設置面より)	幅	高さ (設置面より)
766	1611	880	1611

前方：ストーブ前面より 1000。
上方：ストーブトップより 750。

3-2 告示 225 号離隔距離 (可燃物燃焼部分)

内装制限緩和の告示 225 号に従い、壁、天井を難燃材等 (木材含む) の仕上げを施した場合は、下表に示された数値以上の離隔距離を設ける。仕上げと下地が特定不燃材料の場合は除外される。

壁仕上	A	B	C	D	E	F
遮熱板なし	1405	1273	1586	1531	1273	1535
遮熱板あり	468	424	649	682	424	686

前方：ストーブ前面より 2121、遮熱板設置時 707。
上方：ストーブトップより 929、遮熱板設置時 464。

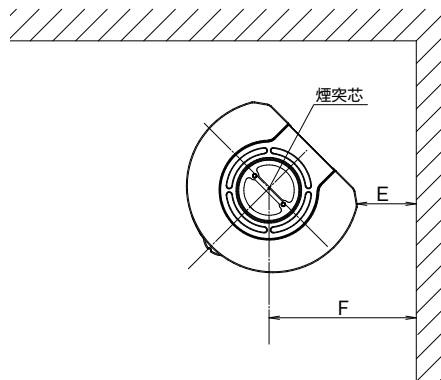
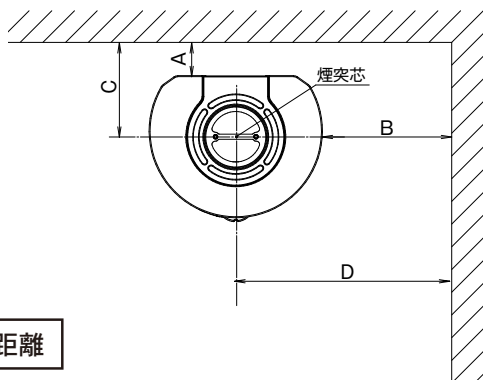
3-2-1 遮熱板寸法 (最小離隔距離)

壁に平行設置		コーナー 45°設置	
幅 (中心)	高さ (設置面より)	幅	高さ (設置面より)
2926	2114	2097	2114

4. 煙突離隔距離

壁仕上	室内煙突	煙突ヒートシールド付	断熱二重煙突
遮熱板なし	460	230	150
遮熱板あり	—	—	150
天井	460	—	150

○ 断熱二重煙突の離隔距離は、内側煙突からの寸法。
○ 最低煙突高さは、ストーブトップより 4m。



○ コーナー設置時は煙突を垂直のみの接続とする。

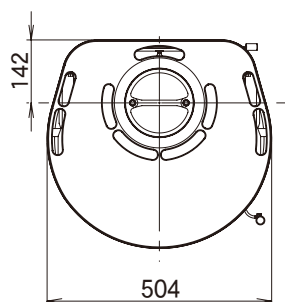
本体離隔距離

単位：mm

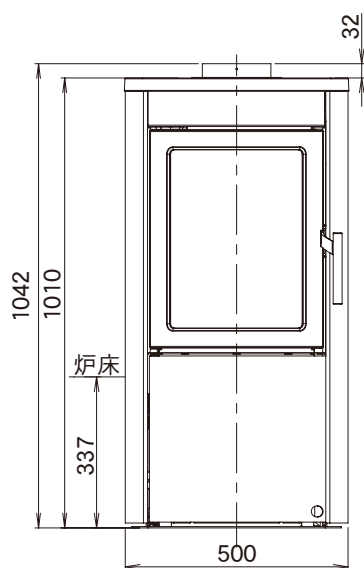
COPYRIGHT 2024.05 BY FIRESIDE COMPANY.LTD.

設置計画資料

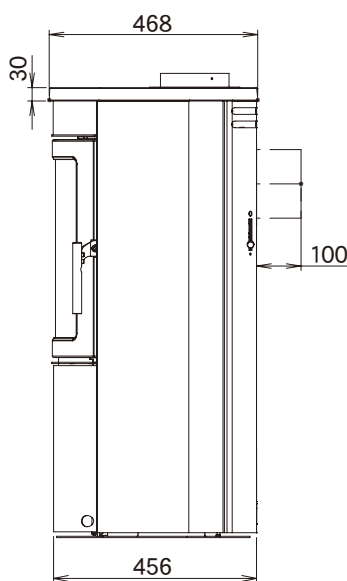
111 HETA : #5000 ノルン



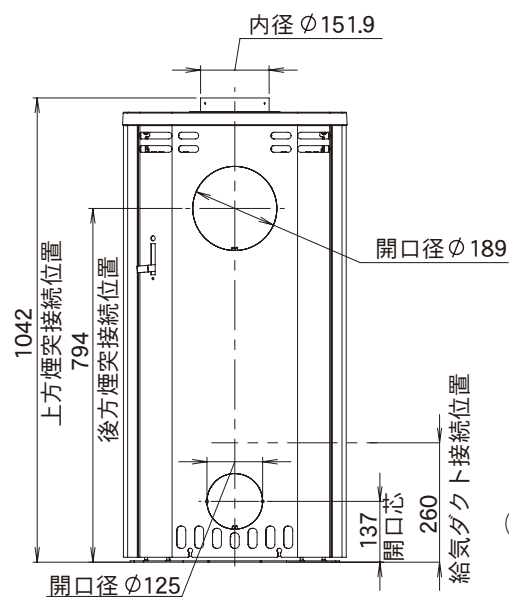
平面図



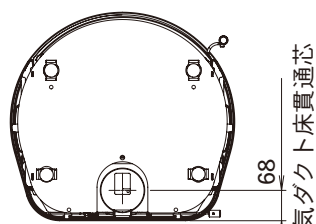
正面図



側面図



背面図



底面図

単位 : mm

COPYRIGHT 2024.05 BY FIRESIDE COMPANY.LTD.

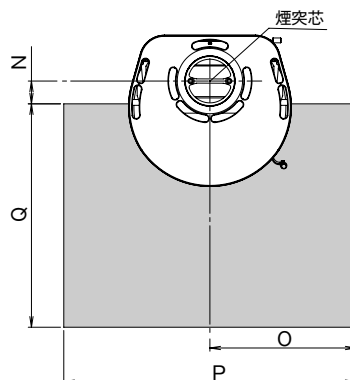
設置計画資料

111 HETA : #5000 ノルン

2. 床の保護範囲

後方 N	側方 O	幅 P	奥行き Q
最大 69	452 以上	904 以上	691 以上

N= 床保護後端から煙突芯まで。



3. 本体離隔距離

3-1 メーカー離隔距離

建築基準法施行令の内装制限により、壁、天井を木材等の可燃下地材に準不燃材の仕上げを施した場合、および平屋、最上階など内装制限の規制を受けず、壁の仕上げが木材等の可燃材である場合は下表に示された数値以上の離隔距離を設ける。仕上げと下地が不燃材料の場合は除外される。

	煙突垂直接続					
壁仕上	A	B	C	D	E	F
遮熱板なし	200	300	342	552	200	422
遮熱板あり	150	150	292	402	150	372

○ 遮熱板とは 25 mm 以上の空気層のある不燃材壁。

	煙突水平接続	
壁仕上	A	B
遮熱板なし	330	300
遮熱板あり	150	150

○ 煙突水平接続時は煙突水平距離 500 mm 以内とし、断熱二重煙突を使用する。

3-1-1 遮熱板寸法 (最小離隔距離)

壁に平行設置		コーナー 45°設置	
幅 (中心)	高さ (設置面より)	幅	高さ (設置面より)
754	1110	779	1110

前方 : ストープ前面より 1000。
上方 : ストープトップより 850。

3-2 告示 225 号離隔距離 (可燃物燃焼部分)

内装制限緩和の告示 225 号に従い、壁、天井を難燃材等 (木材含む) の仕上げを施した場合は、下表に示された数値以上の離隔距離を設ける。仕上げと下地が特定不燃材料の場合は除外される。

壁仕上	A	B	C	D	E	F
遮熱板なし	1135	1094	1277	1346	1135	1357
遮熱板あり	379	365	521	617	379	601

前方 : ストープ前面より 1713、遮熱板設置時 571。
上方 : ストープトップより 995、遮熱板設置時 498。

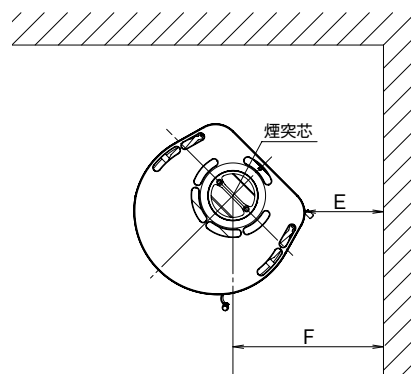
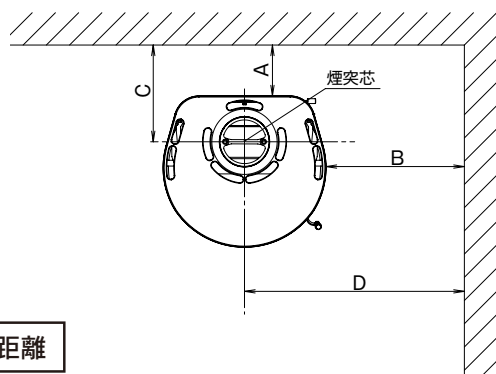
3-2-1 遮熱板寸法 (最小離隔距離)

壁に平行設置		コーナー 45°設置	
幅 (中心)	高さ (設置面より)	幅	高さ (設置面より)
2510	1655	1845	1655

4. 煙突離隔距離

壁仕上	室内煙突	煙突ヒートシールド付	断熱二重煙突
遮熱板なし	460	230	150
遮熱板あり	—	—	150
天井	460	—	150

○ 断熱二重煙突の離隔距離は、内側煙突からの寸法。
○ 最低煙突高さは、ストープトップより 4m。



○ コーナー設置時は煙突を垂直のみの接続とする。

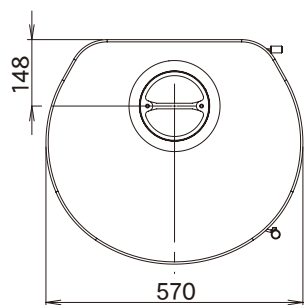
本体離隔距離

単位 : mm

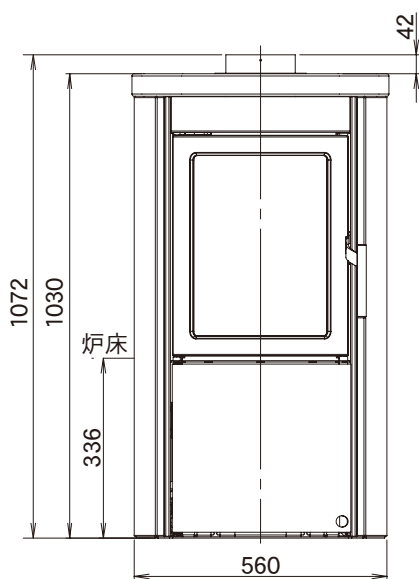
COPYRIGHT 2024.05 BY FIRESIDE COMPANY.LTD.

設置計画資料

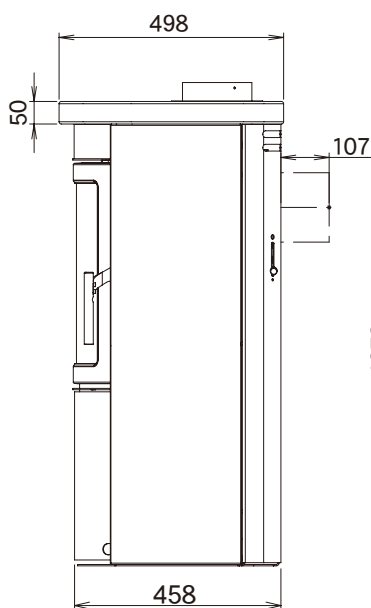
111 HETA : #5008 ノルン ソープストーン



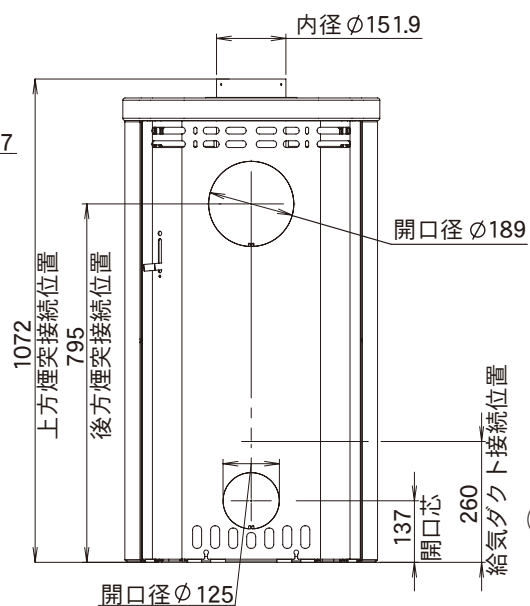
平面図



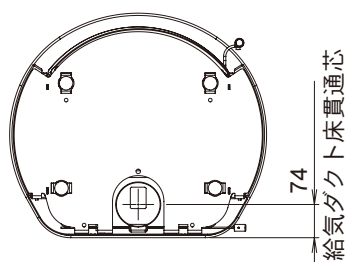
正面図



側面図



背面図



底面図

単位 : mm

COPYRIGHT 2024.05 BY FIRESIDE COMPANY.LTD.

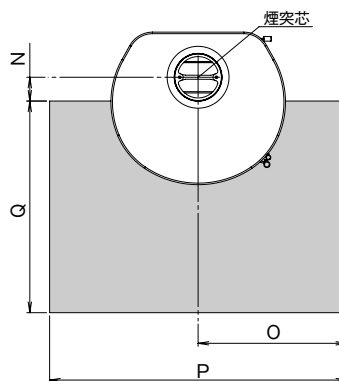
設置計画資料

111 HETA : #5008 ノルン ソープストーン

2. 床の保護範囲

後方 N	側方 O	幅 P	奥行き Q
最大 71	485 以上	970 以上	691 以上

N= 床保護後端から煙突芯まで。



3. 本体離隔距離

3-1 メーカー離隔距離

建築基準法施行令の内装制限により、壁、天井を木材等の可燃下地材に準不燃材の仕上げを施した場合、および平屋、最上階など内装制限の規制を受けず、壁の仕上げが木材等の可燃材である場合は下表に示された数値以上の離隔距離を設ける。仕上げと下地が不燃材料の場合は除外される。

	煙突垂直接続					
壁仕上	A	B	C	D	E	F
遮熱板なし	200	300	348	585	200	434
遮熱板あり	150	150	298	435	150	384

○ 遮熱板とは 25 mm 以上の空気層のある不燃材壁。

	煙突水平接続	
壁仕上	A	B
遮熱板なし	325	300
遮熱板あり	150	150

○ 煙突水平接続時は煙突水平距離 500 mm 以内とし、断熱二重煙突を使用する。

3-1-1 遮熱板寸法 (最小離隔距離)

壁に平行設置		コーナー 45°設置	
幅 (中心)	高さ (設置面より)	幅	高さ (設置面より)
820	1130	823	1130

前方 : ストープ前面より 1000。
上方 : ストープトップより 850。

3-2 告示 225 号離隔距離 (可燃物燃焼部分)

内装制限緩和の告示 225 号に従い、壁、天井を難燃材等 (木材含む) の仕上げを施した場合は、下表に示された数値以上の離隔距離を設ける。仕上げと下地が特定不燃材料の場合は除外される。

壁仕上	A	B	C	D	E	F
遮熱板なし	1219	1139	1366	1424	1219	1453
遮熱板あり	407	380	554	665	407	641

前方 : ストープ前面より 1839、遮熱板設置時 613。
上方 : ストープトップより 1078、遮熱板設置時 539。

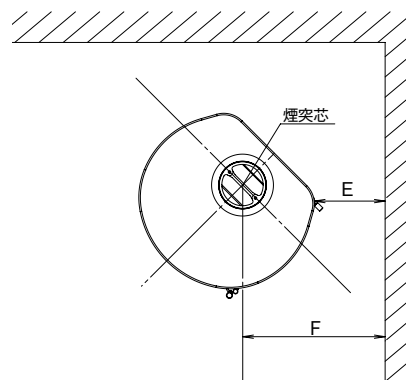
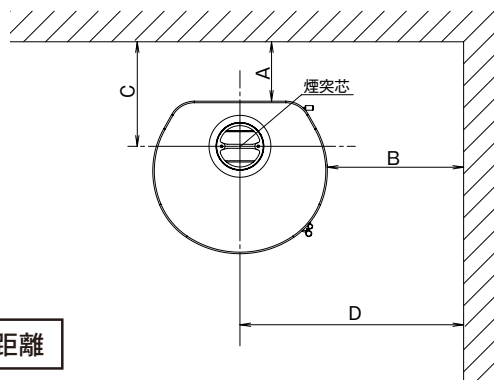
3-2-1 遮熱板寸法 (最小離隔距離)

壁に平行設置		コーナー 45°設置	
幅 (中心)	高さ (設置面より)	幅	高さ (設置面より)
2710	1730	1960	1730

4. 煙突離隔距離

壁仕上	室内煙突	煙突ヒートシールド付	断熱二重煙突
遮熱板なし	460	230	150
遮熱板あり	—	—	150
天井	460	—	150

○ 断熱二重煙突の離隔距離は、内側煙突からの寸法。
○ 最低煙突高さは、ストープトップより 4m。



○ コーナー設置時は煙突を垂直のみの接続とする。

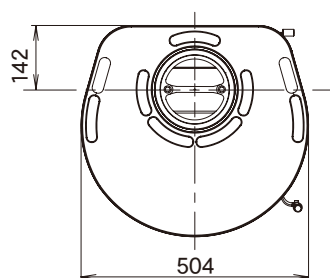
本体離隔距離

単位 : mm

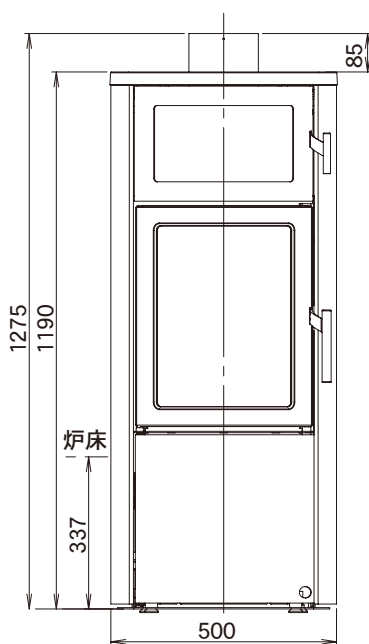
COPYRIGHT 2024.05 BY FIRESIDE COMPANY.LTD.

設置計画資料

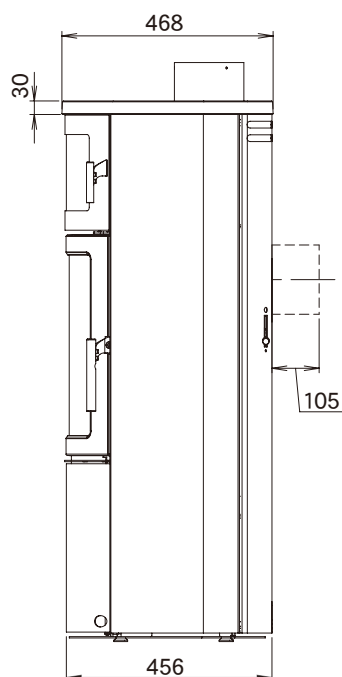
111 HETA : #5210 ノルン オープン



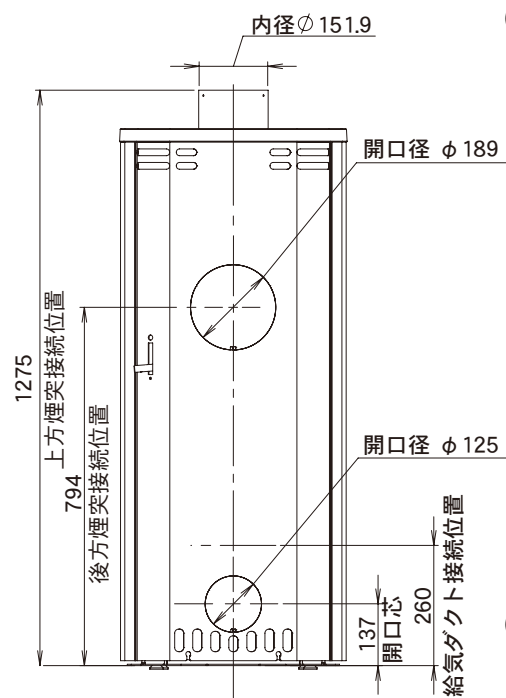
平面図



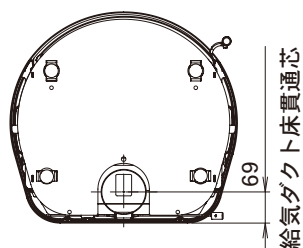
正面図



側面図



背面図



底面図

単位 : mm

COPYRIGHT 2024.05 BY FIRESIDE COMPANY.LTD.

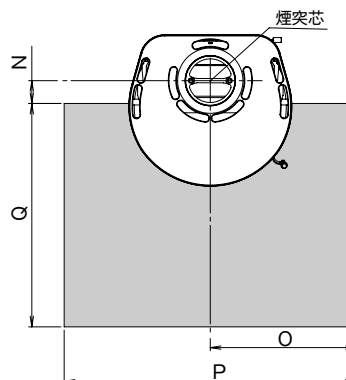
設置計画資料

111 HETA : #5210 ノルン オープン

2. 床の保護範囲

後方 N	側方 O	幅 P	奥行き Q
最大 69	452 以上	904 以上	691 以上

N= 床保護後端から煙突芯まで。



3. 本体離隔距離

3-1 メーカー離隔距離

建築基準法施行令の内装制限により、壁、天井を木材等の可燃下地材に準不燃材の仕上げを施した場合、および平屋、最上階など内装制限の規制を受けず、壁の仕上げが木材等の可燃材である場合は下表に示された数値以上の離隔距離を設ける。仕上げと下地が不燃材料の場合は除外される。

壁仕上	煙突垂直接続					
	A	B	C	D	E	F
遮熱板なし	200	300	342	552	200	422
遮熱板あり	150	150	292	402	150	372

○ 遮熱板とは 25 mm 以上の空気層のある不燃材壁。

壁仕上	煙突水平接続	
	A	B
遮熱板なし	330	300
遮熱板あり	150	150

○ 煙突水平接続時は煙突水平距離 500 mm 以内とし、断熱二重煙突を使用する。

3-1-1 遮熱板寸法 (最小離隔距離)

壁に平行設置		コーナー 45°設置	
幅 (中心)	高さ (設置面より)	幅	高さ (設置面より)
754	1298	783	1298

前方 : ストープ前面より 1000。
上方 : ストープトップより 850。

3-2 告示 225 号離隔距離 (可燃物燃焼部分)

内装制限緩和の告示 225 号に従い、壁、天井を難燃材等 (木材含む) の仕上げを施した場合は、下表に示された数値以上の離隔距離を設ける。仕上げと下地が特定不燃材料の場合は除外される。

壁仕上	A	B	C	D	E	F
遮熱板なし	1239	1194	1381	1446	1239	1462
遮熱板あり	413	398	555	650	413	636

前方 : ストープ前面より 1869、遮熱板設置時 623。
上方 : ストープトップより 995、遮熱板設置時 498。

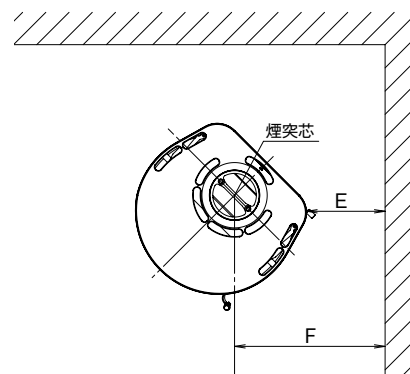
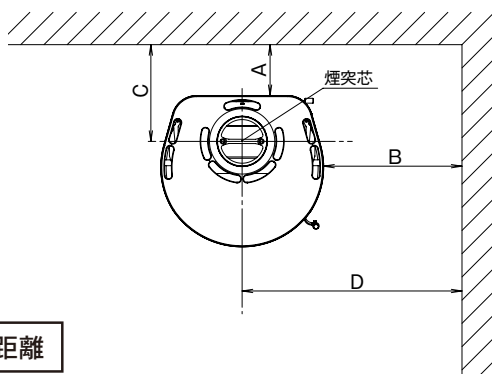
3-2-1 遮熱板寸法 (最小離隔距離)

壁に平行設置		コーナー 45°設置	
幅 (中心)	高さ (設置面より)	幅	高さ (設置面より)
2700	1850	1985	1850

4. 煙突離隔距離

壁仕上	室内煙突	煙突ヒートシールド付	断熱二重煙突
遮熱板なし	460	230	150
遮熱板あり	—	—	150
天井	460	—	150

○ 断熱二重煙突の離隔距離は、内側煙突からの寸法。
○ 最低煙突高さは、ストープトップより 4m。



○ コーナー設置時は煙突を垂直のみの接続とする。

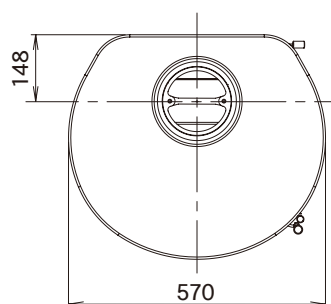
本体離隔距離

単位 : mm

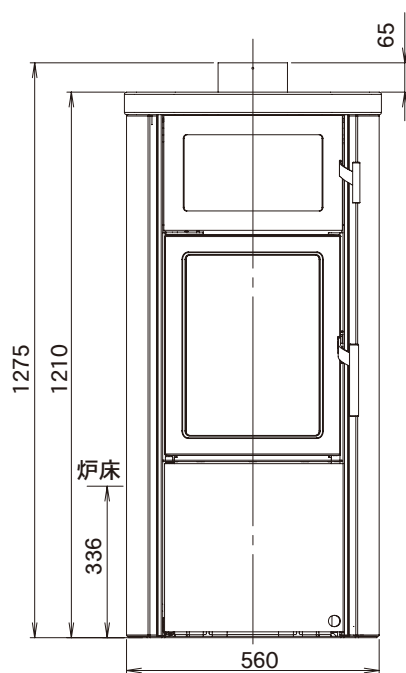
COPYRIGHT 2024.05 BY FIRESIDE COMPANY.LTD.

設置計画資料

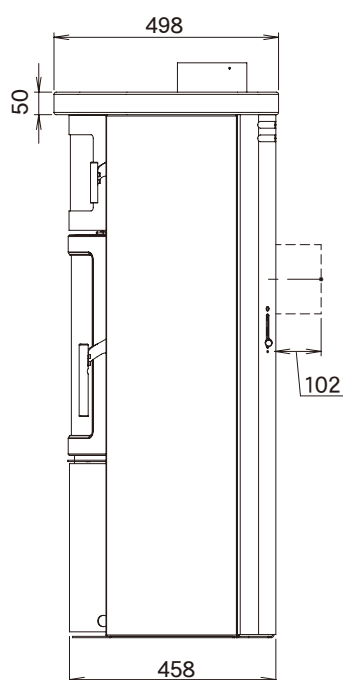
111 HETA : #5218 ノルン ソープストーン+ オープン



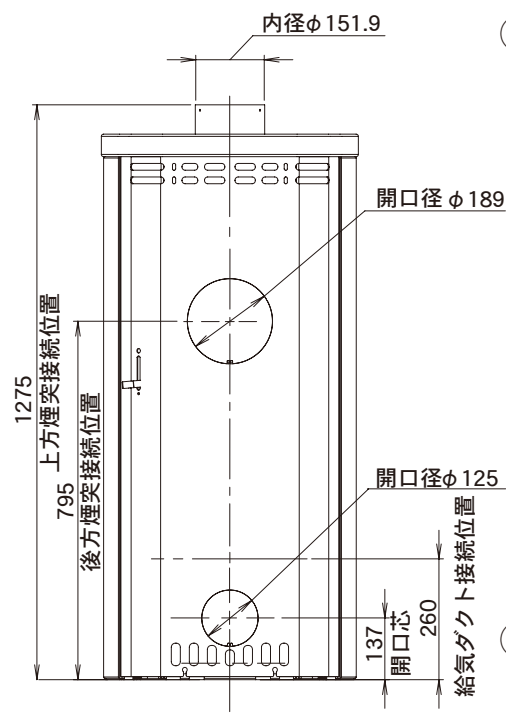
平面図



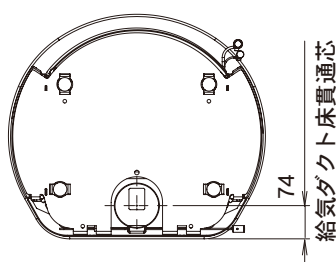
正面図



側面図



背面図



底面図

単位 : mm

COPYRIGHT 2024.05 BY FIRESIDE COMPANY.LTD.

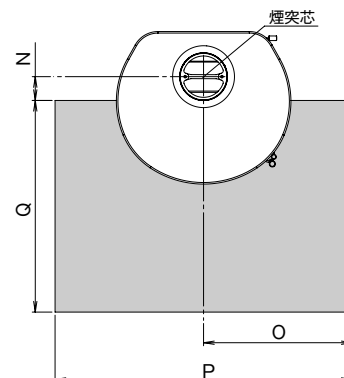
設置計画資料

111 HETA : #5218 ノルン ソープストーン+ オープン

2. 床の保護範囲

後方 N	側方 O	幅 P	奥行き Q
最大 71	485 以上	970 以上	691 以上

N= 床保護後端から煙突芯まで。



3. 本体離隔距離

3-1 メーカー離隔距離

建築基準法施行令の内装制限により、壁、天井を木材等の可燃下地材に準不燃材の仕上げを施した場合、および平屋、最上階など内装制限の規制を受けず、壁の仕上げが木材等の可燃材である場合は下表に示された数値以上の離隔距離を設ける。仕上げと下地が不燃材料の場合は除外される。

	煙突垂直接続					
壁仕上	A	B	C	D	E	F
遮熱板なし	200	300	348	585	200	436
遮熱板あり	150	150	298	435	150	386

○ 遮熱板とは 25 mm 以上の空気層のある不燃材壁。

	煙突水平接続	
壁仕上	A	B
遮熱板なし	325	300
遮熱板あり	150	150

○ 煙突水平接続時は煙突水平距離 500 mm 以内とし、断熱二重煙突を使用する。

3-1-1 遮熱板寸法 (最小離隔距離)

壁に平行設置		コーナー 45°設置	
幅 (中心)	高さ (設置面より)	幅	高さ (設置面より)
820	1310	824	1310

前方 : ストープ前面より 1000。
上方 : ストープトップより 850。

3-2 告示 225 号離隔距離 (可燃物燃焼部分)

内装制限緩和の告示 225 号に従い、壁、天井を難燃材等 (木材含む) の仕上げを施した場合は、下表に示された数値以上の離隔距離を設ける。仕上げと下地が特定不燃材料の場合は除外される。

壁仕上	A	B	C	D	E	F
遮熱板なし	1321	1235	1469	1520	1321	1557
遮熱板あり	441	412	589	697	441	677

前方 : ストープ前面より 1994、遮熱板設置時 665。
上方 : ストープトップより 1078、遮熱板設置時 539。

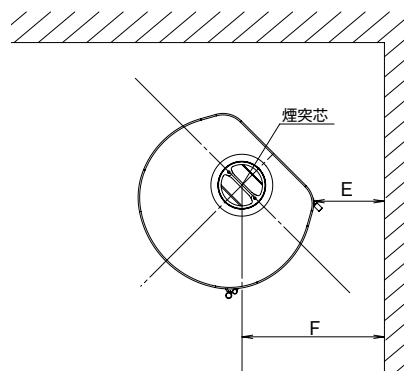
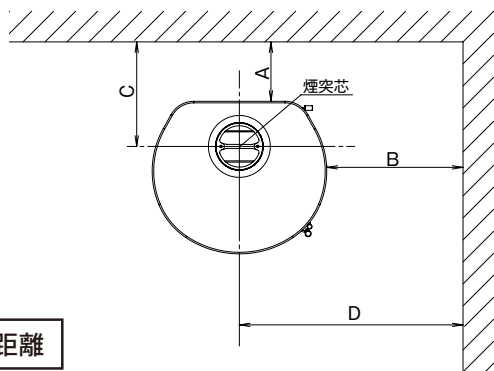
3-2-1 遮熱板寸法 (最小離隔距離)

壁に平行設置		コーナー 45°設置	
幅 (中心)	高さ (設置面より)	幅	高さ (設置面より)
2900	1912	2090	1912

4. 煙突離隔距離

壁仕上	室内煙突	煙突ヒートシールド付	断熱二重煙突
遮熱板なし	460	230	150
遮熱板あり	—	—	150
天井	460	—	150

○ 断熱二重煙突の離隔距離は、内側煙突からの寸法。
○ 最低煙突高さは、ストープトップより 4m。



○ コーナー設置時は煙突を垂直のみの接続とする。

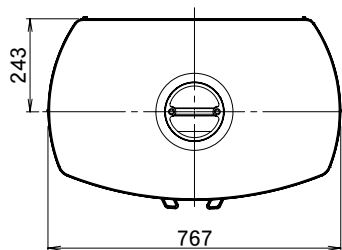
本体離隔距離

単位 : mm

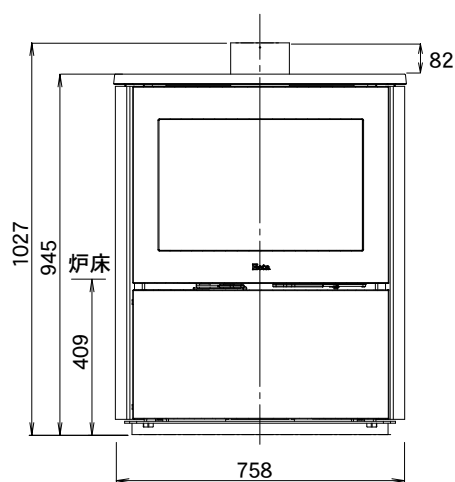
COPYRIGHT 2024.05 BY FIRESIDE COMPANY.LTD.

設置計画資料

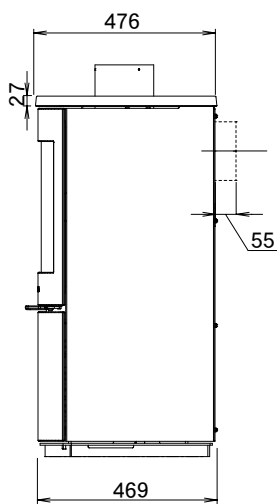
111 HETA : #1000 ロギ



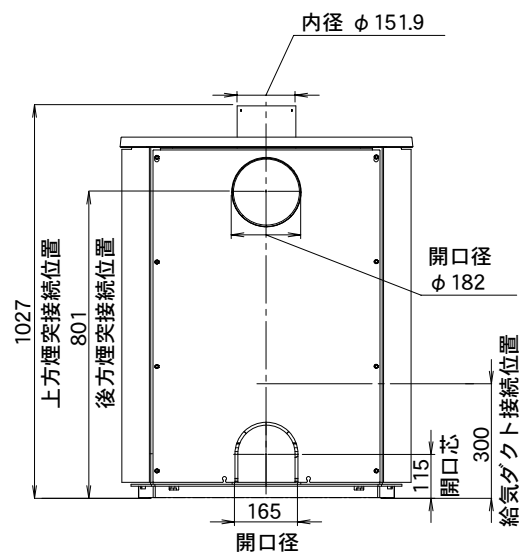
平面図



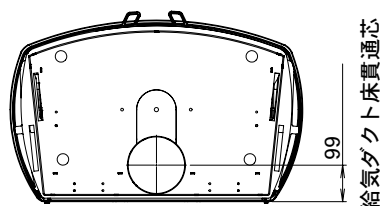
正面図



側面図



背面図



底面図

単位 : mm

COPYRIGHT 2024.05 BY FIRESIDE COMPANY.LTD.

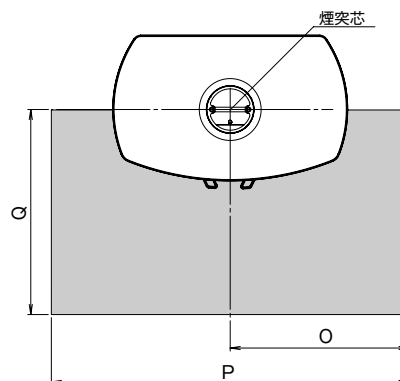
設置計画資料

111 HETA : #1000 ロギ

2. 床の保護範囲

側方 O	幅 P	奥行き Q
584 以上	1167 以上	668 以上

N= 床保護後端から煙突芯まで。



3. 本体離隔距離

3-1 メーカー離隔距離

建築基準法施行令の内装制限により、壁、天井を木材等の可燃下地材に準不燃材の仕上げを施した場合、および平屋、最上階など内装制限の規制を受けず、壁の仕上げが木材等の可燃材である場合は下表に示された数値以上の離隔距離を設ける。仕上げと下地が不燃材料の場合は除外される。

	煙突垂直接続					
壁仕上	A	B	C	D	E	F
遮熱板なし	150	450	393	834	150	535
遮熱板あり	150	150	393	534	150	535

○ 遮熱板とは 25 mm 以上の空気層のある不燃材壁。

	煙突水平接続	
壁仕上	A	B
遮熱板なし	230	450
遮熱板あり	150	150

○ 煙突水平接続時は煙突水平距離 500 mm 以内とし、断熱二重煙突を使用する。

3-1-1 遮熱板寸法 (最小離隔距離)

壁に平行設置		コーナー 45°設置	
幅 (中心)	高さ (設置面より)	幅	高さ (設置面より)
1018	1043	994	1043

前方 : ストープ前面より 1300。
上方 : ストープトップより 750。

3-2 告示 225 号離隔距離 (可燃物燃焼部分)

内装制限緩和の告示 225 号に従い、壁、天井を難燃材等 (木材含む) の仕上げを施した場合は、下表に示された数値以上の離隔距離を設ける。仕上げと下地が特定不燃材料の場合は除外される。

壁仕上	A	B	C	D	E	F
遮熱板なし	1354	1067	1597	1451	1354	1740
遮熱板あり	452	356	695	740	452	837

前方 : ストープ前面より 2044、遮熱板設置時 682。
上方 : ストープトップより 1257、遮熱板設置時 629。

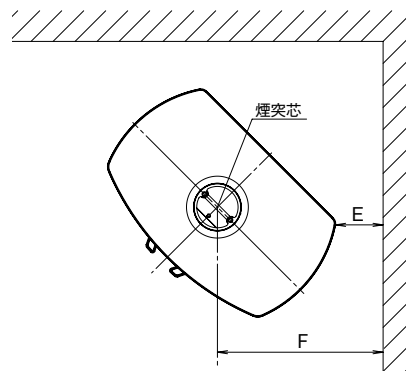
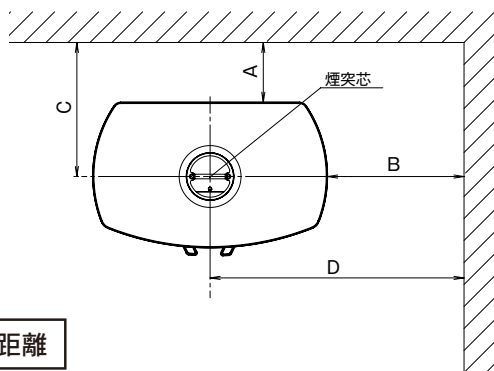
3-2-1 遮熱板寸法 (最小離隔距離)

壁に平行設置		コーナー 45°設置	
幅 (中心)	高さ (設置面より)	幅	高さ (設置面より)
2800	1770	2005	1770

4. 煙突離隔距離

壁仕上	室内煙突	煙突ヒートシールド付	断熱二重煙突
遮熱板なし	460	230	150
遮熱板あり	—	—	150
天井	460	—	150

○ 断熱二重煙突の離隔距離は、内側煙突からの寸法。
○ 最低煙突高さは、ストープトップより 4m。



○ コーナー設置時は煙突を垂直のみの接続とする。

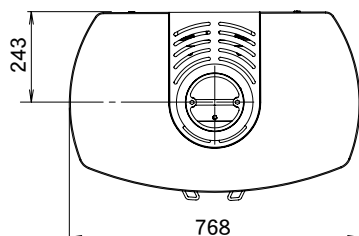
本体離隔距離

単位 : mm

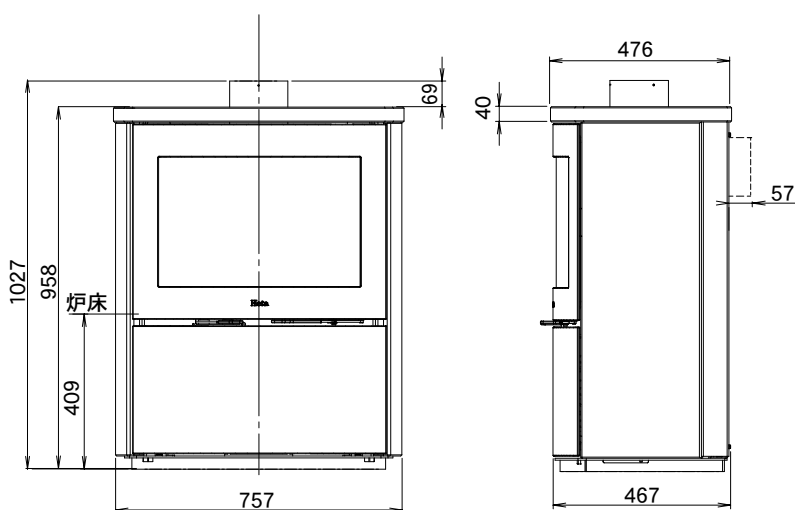
COPYRIGHT 2024.05 BY FIRESIDE COMPANY.LTD.

設置計画資料

111 HETA : #1008 ロギ ソープストーン

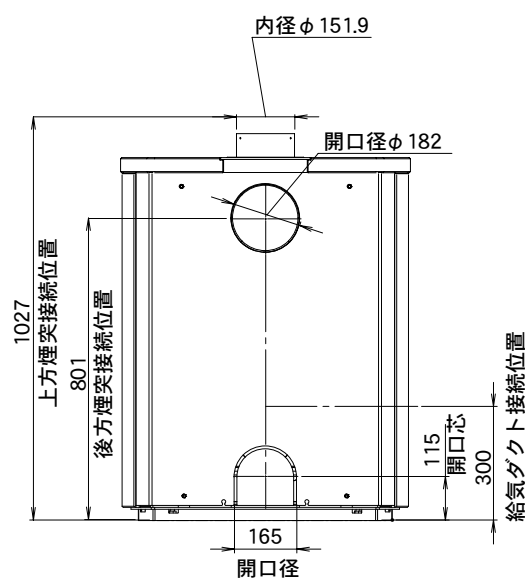


平面図

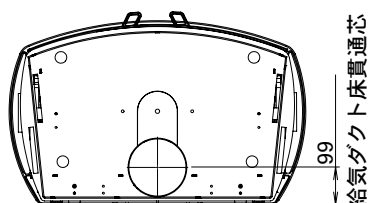


正面図

側面図



背面図



底面図

単位 : mm

COPYRIGHT 2024.05 BY FIRESIDE COMPANY.LTD.

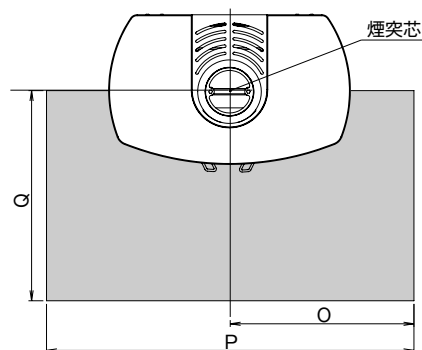
設置計画資料

111 HETA : #1008 ロギ ソープストーン

2. 床の保護範囲

側方 O	幅 P	奥行き Q
584 以上	1168 以上	668 以上

N= 床保護後端から煙突芯まで。



3. 本体離隔距離

3-1 メーカー離隔距離

建築基準法施行令の内装制限により、壁、天井を木材等の可燃下地材に準不燃材の仕上げを施した場合、および平屋、最上階など内装制限の規制を受けず、壁の仕上げが木材等の可燃材である場合は下表に示された数値以上の離隔距離を設ける。仕上げと下地が不燃材料の場合は除外される。

	煙突垂直接続					
壁仕上	A	B	C	D	E	F
遮熱板なし	150	450	393	834	150	537
遮熱板あり	150	150	393	534	150	537

○ 遮熱板とは 25 mm以上の空気層のある不燃材壁。

	煙突水平接続	
壁仕上	A	B
遮熱板なし	230	450
遮熱板あり	150	150

○ 煙突水平接続時は煙突水平距離 500 mm以内とし、断熱二重煙突を使用する。

3-1-1 遮熱板寸法 (最小離隔距離)

壁に平行設置		コーナー 45°設置	
幅 (中心)	高さ (設置面より)	幅	高さ (設置面より)
1018	1058	996	1058

前方：ストーブ前面より 1300。
上方：ストーブトップより 750。

3-2 告示 225 号離隔距離 (可燃物燃焼部分)

内装制限緩和の告示 225 号に従い、壁、天井を難燃材等 (木材含む) の仕上げを施した場合は、下表に示された数値以上の離隔距離を設ける。仕上げと下地が特定不燃材料の場合は除外される。

壁仕上	A	B	C	D	E	F
遮熱板なし	1364	1074	1607	1458	1364	1751
遮熱板あり	455	358	698	742	455	842

前方：ストーブ前面より 2059、遮熱板設置時 687。
上方：ストーブトップより 1258、遮熱板設置時 629。

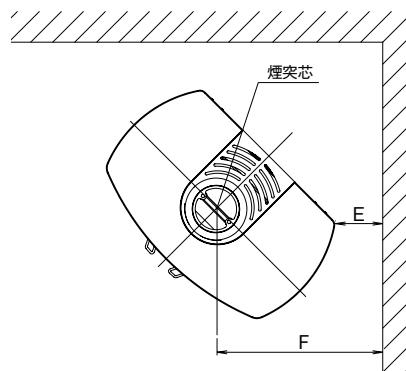
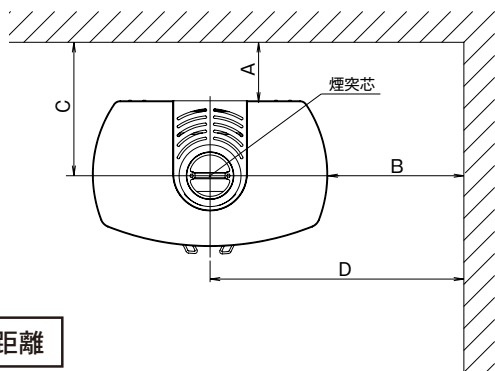
3-2-1 遮熱板寸法 (最小離隔距離)

壁に平行設置		コーナー 45°設置	
幅 (中心)	高さ (設置面より)	幅	高さ (設置面より)
2800	1780	2015	1780

4. 煙突離隔距離

壁仕上	室内煙突	煙突ヒートシールド付	断熱二重煙突
遮熱板なし	460	230	150
遮熱板あり	—	—	150
天井	460	—	150

○ 断熱二重煙突の離隔距離は、内側煙突からの寸法。
○ 最低煙突高さは、ストーブトップより4m。



○ コーナー設置時は煙突を垂直のみの接続とする。

本体離隔距離

単位：mm

COPYRIGHT 2024.05 BY FIRESIDE COMPANY.LTD.

111 HETA : #1010 ログ オーブン



101

COPYRIGHT 2024.05 BY FIRESIDE COMPANY.LTD.

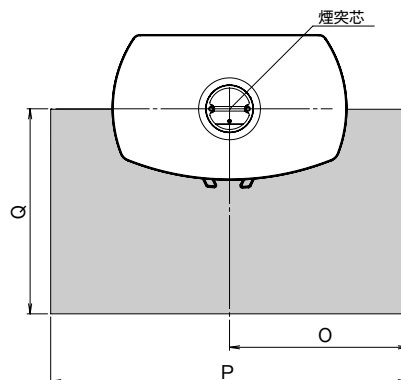
設置計画資料

111 HETA : #1010 ロギ オープン

2. 床の保護範囲

側方 O	幅 P	奥行き Q
584 以上	1167 以上	668 以上

N= 床保護後端から煙突芯まで。



3. 本体離隔距離

3-1 メーカー離隔距離

建築基準法施行令の内装制限により、壁、天井を木材等の可燃下地材に準不燃材の仕上げを施した場合、および平屋、最上階など内装制限の規制を受けず、壁の仕上げが木材等の可燃材である場合は下表に示された数値以上の離隔距離を設ける。仕上げと下地が不燃材料の場合は除外される。

	煙突垂直接続					
壁仕上	A	B	C	D	E	F
遮熱板なし	150	450	399	834	150	540
遮熱板あり	150	150	399	534	150	540

○ 遮熱板とは 25 mm以上の空気層のある不燃材壁。

	煙突水平接続	
壁仕上	A	B
遮熱板なし	270	450
遮熱板あり	150	150

○ 煙突水平接続時は煙突水平距離 500 mm以内とし、断熱二重煙突を使用する。

3-1-1 遮熱板寸法 (最小離隔距離)

壁に平行設置		コーナー 45°設置	
幅 (中心)	高さ (設置面より)	幅	高さ (設置面より)
1018	1392	994	1392

前方 : ストープ前面より 1300。
上方 : ストープトップより 750。

3-2 告示 225 号離隔距離 (可燃物燃焼部分)

内装制限緩和の告示 225 号に従い、壁、天井を難燃材等 (木材含む) の仕上げを施した場合は、下表に示された数値以上の離隔距離を設ける。仕上げと下地が特定不燃材料の場合は除外される。

壁仕上	A	B	C	D	E	F
遮熱板なし	1583	1247	1832	1631	1583	1973
遮熱板あり	528	416	777	800	528	918

前方 : ストープ前面より 2390、遮熱板設置時 797。
上方 : ストープトップより 1257、遮熱板設置時 629。

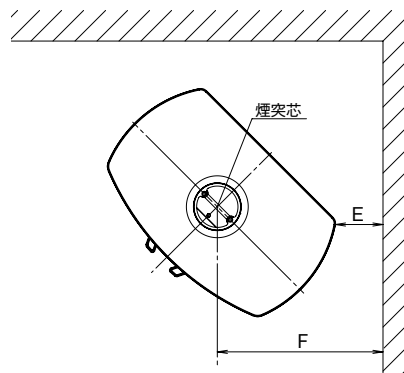
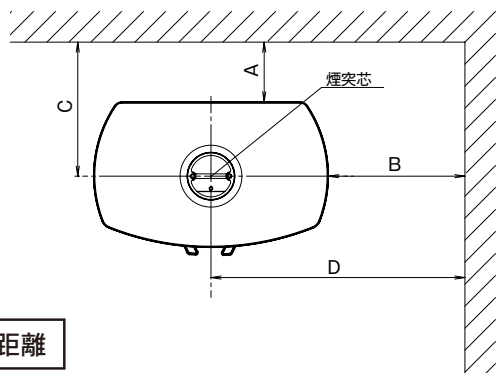
3-2-1 遮熱板寸法 (最小離隔距離)

壁に平行設置		コーナー 45°設置	
幅 (中心)	高さ (設置面より)	幅	高さ (設置面より)
3150	2120	2255	2120

4. 煙突離隔距離

壁仕上	室内煙突	煙突ヒートシールド付	断熱二重煙突
遮熱板なし	460	230	150
遮熱板あり	—	—	150
天井	460	—	150

○ 断熱二重煙突の離隔距離は、内側煙突からの寸法。
○ 最低煙突高さは、ストープトップより4m。



○ コーナー設置時は煙突を垂直のみの接続とする。

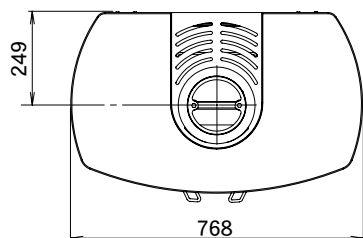
本体離隔距離

単位 : mm

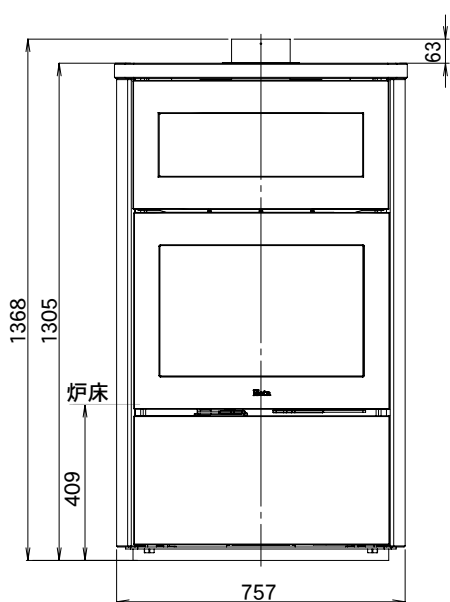
COPYRIGHT 2024.05 BY FIRESIDE COMPANY.LTD.

設置計画資料

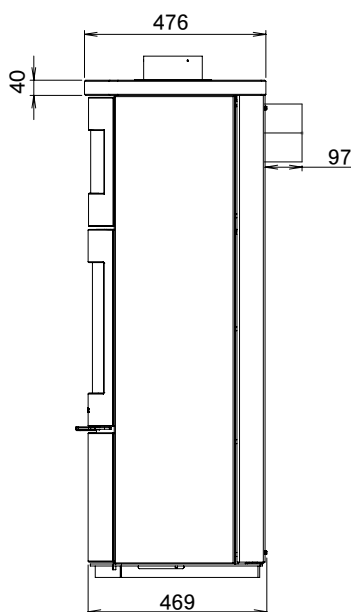
111 HETA : #1018 ロギ ソープストーン+オープン



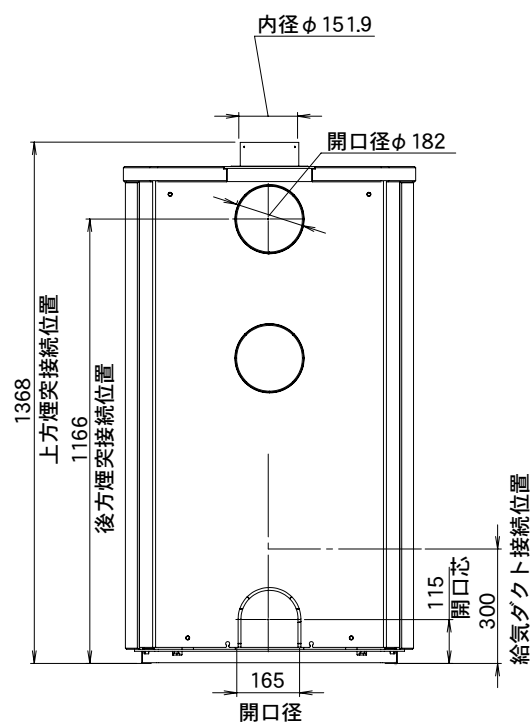
平面図



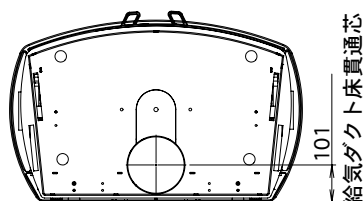
正面図



側面図



背面図



底面図

単位 : mm

COPYRIGHT 2024.05 BY FIRESIDE COMPANY.LTD.

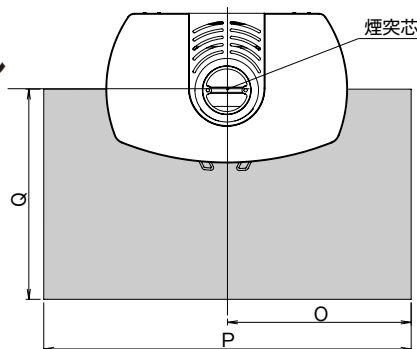
設置計画資料

111 HETA : #1018 ロギ ソープストーン+オープン

2. 床の保護範囲

側方 O	幅 P	奥行き Q
584 以上	1168 以上	668 以上

N= 床保護後端から煙突芯まで。



3. 本体離隔距離

3-1 メーカー離隔距離

建築基準法施行令の内装制限により、壁、天井を木材等の可燃下地材に準不燃材の仕上げを施した場合、および平屋、最上階など内装制限の規制を受けず、壁の仕上げが木材等の可燃材である場合は下表に示された数値以上の離隔距離を設ける。仕上げと下地が不燃材料の場合は除外される。

壁仕上	煙突垂直接続					
	A	B	C	D	E	F
遮熱板なし	150	450	399	834	150	541
遮熱板あり	150	150	399	534	150	541

○ 遮熱板とは 25 mm 以上の空気層のある不燃材壁。

壁仕上	煙突水平接続	
	A	B
遮熱板なし	270	450
遮熱板あり	150	150

○ 煙突水平接続時は煙突水平距離 500 mm 以内とし、断熱二重煙突を使用する。

3-1-1 遮熱板寸法 (最小離隔距離)

壁に平行設置		コーナー 45°設置	
幅 (中心)	高さ (設置面より)	幅	高さ (設置面より)
1018	1405	996	1405

前方：ストーブ前面より 1300。
上方：ストーブトップより 750。

3-2 告示 225 号離隔距離 (可燃物燃焼部分)

内装制限緩和の告示 225 号に従い、壁、天井を難燃材等 (木材含む) の仕上げを施した場合は、下表に示された数値以上の離隔距離を設ける。仕上げと下地が特定不燃材料の場合は除外される。

壁仕上	A	B	C	D	E	F
遮熱板なし	1592	1254	1841	1638	1592	1983
遮熱板あり	531	418	780	802	531	922

前方：ストーブ前面より 2403、遮熱板設置時 801。
上方：ストーブトップより 1254、遮熱板設置時 629。

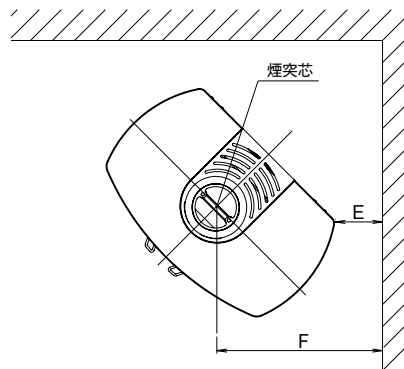
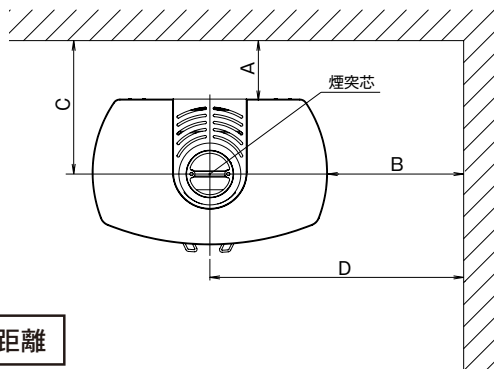
3-2-1 遮熱板寸法 (最小離隔距離)

壁に平行設置		コーナー 45°設置	
幅 (中心)	高さ (設置面より)	幅	高さ (設置面より)
3160	2120	2265	2120

4. 煙突離隔距離

壁仕上	室内煙突	煙突ヒートシールド付	断熱二重煙突
遮熱板なし	460	230	150
遮熱板あり	—	—	150
天井	460	—	150

○ 断熱二重煙突の離隔距離は、内側煙突からの寸法。
○ 最低煙突高さは、ストーブトップより 4m。



○ コーナー設置時は煙突を垂直のみの接続とする。

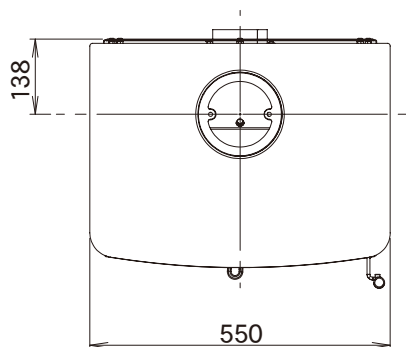
本体離隔距離

単位：mm

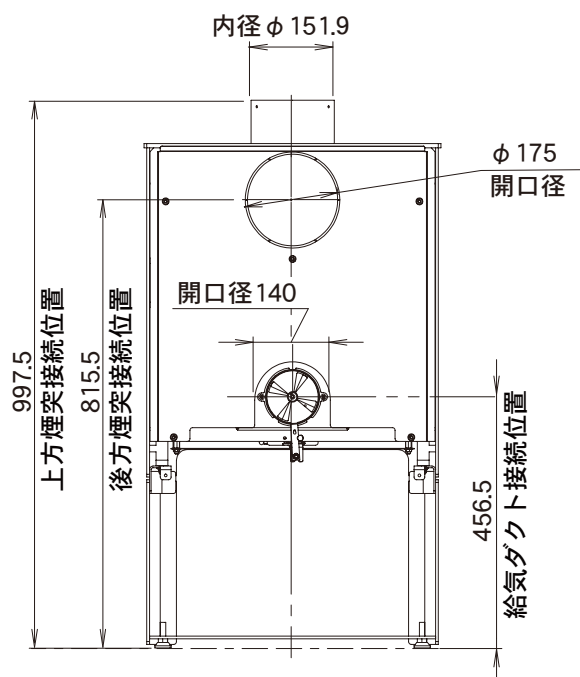
COPYRIGHT 2024.05 BY FIRESIDE COMPANY.LTD.

設置計画資料

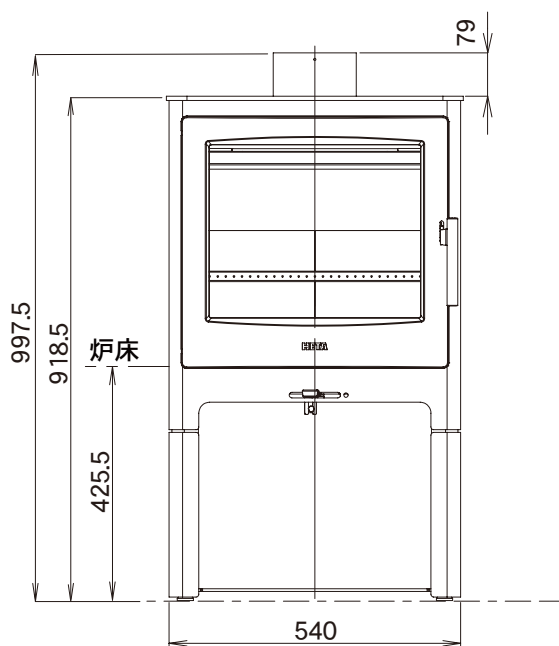
111 HETA : #1800 アンビション



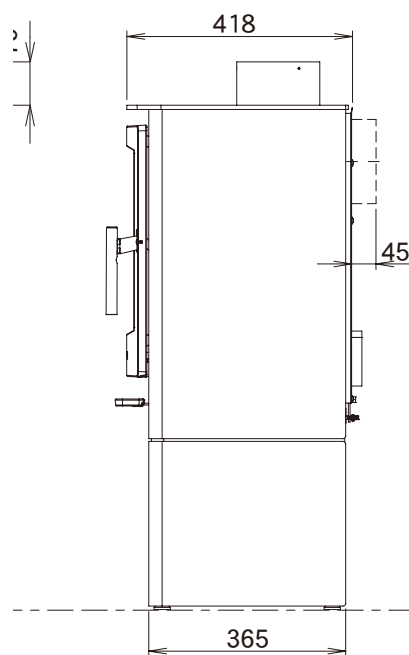
平面図



背面図



正面図



側面図

単位 : mm

COPYRIGHT 2024.05 BY FIRESIDE COMPANY.LTD.

設置計画資料

111 HETA : #1800 アンビション

2. 床の保護範囲

前面 M	後方 N	側方 O	幅 P	奥行き Q
730	138	475	950	868

N= 床保護後端から煙突芯まで。

3. 本体離隔距離

3-1 メーカー離隔距離

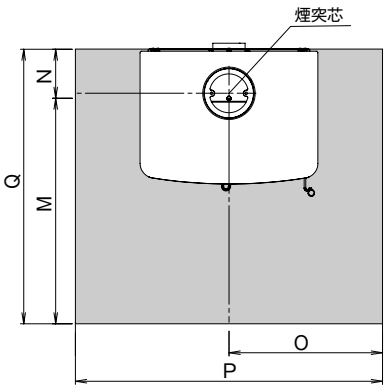
建築基準法施行令の内装制限により、壁、天井を木材等の可燃下地材に準不燃材の仕上げを施した場合、および平屋、最上階など内装制限の規制を受けず、壁の仕上げが木材等の可燃材である場合は下表に示された数値以上の離隔距離を設ける。仕上げと下地が不燃材料の場合は除外される。

壁仕上	煙突垂直接続					
	A	B	C	D	E	F
遮熱板なし	225	400	363	675	225	510
遮熱板あり	150	150	288	425	150	435

○ 遮熱板とは 25 mm 以上の空気層のある不燃材壁。

壁仕上	煙突水平接続	
	A	B
遮熱板なし	310	400
遮熱板あり	150	150

○ 煙突水平接続時は煙突水平距離 500 mm 以内とし、断熱二重煙突を使用する。



3-1-1 遮熱板寸法 (最小離隔距離)

壁に平行設置		コーナー 45°設置	
幅 (中心)	高さ (設置面より)	幅	高さ (設置面より)
800	1013	896	1013

前方 : ストープ前面より 1100。
上方 : ストープトップより 1000。

3-2 告示 225 号離隔距離 (可燃物燃焼部分)

内装制限緩和の告示 225 号に従い、壁、天井を難燃材等 (木材含む) の仕上げを施した場合は、下表に示された数値以上の離隔距離を設ける。仕上げと下地が特定不燃材料の場合は除外される。

壁仕上	A	B	C	D	E	F
遮熱板なし	943	983	1081	1258	983	1268
遮熱板あり	315	328	453	603	328	613

前方 : ストープ前面より 1424、遮熱板設置時 475。
上方 : ストープトップより 1030、遮熱板設置時 515。

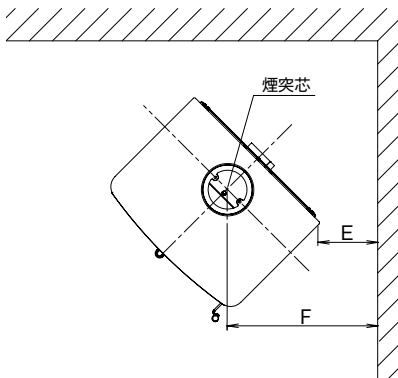
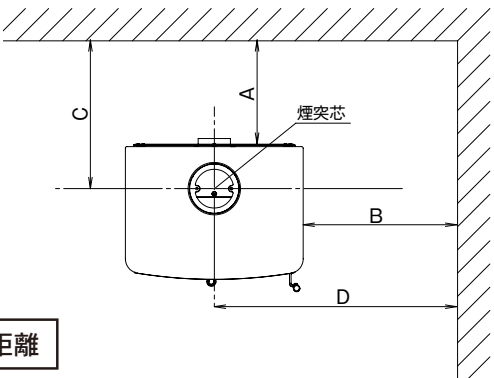
3-2-1 遮熱板寸法 (最小離隔距離)

壁に平行設置		コーナー 45°設置	
幅 (中心)	高さ (設置面より)	幅	高さ (設置面より)
2270	1580	1725	1580

4. 煙突離隔距離

壁仕上	室内煙突	煙突ヒートシールド付	断熱二重煙突
遮熱板なし	460	230	150
遮熱板あり	—	—	150
天井	460	—	150

○ 断熱二重煙突の離隔距離は、内側煙突からの寸法。
○ 最低煙突高さは、ストープトップより 4m。



○ コーナー設置時は煙突を垂直のみの接続とする。

本体離隔距離

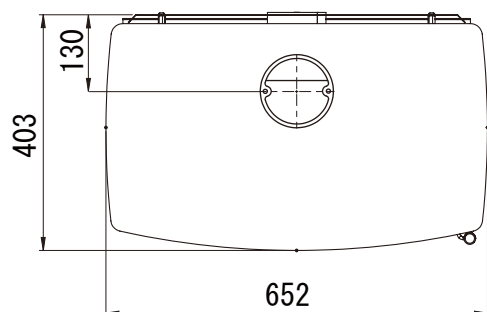
単位 : mm

COPYRIGHT 2024.05 BY FIRESIDE COMPANY.LTD.

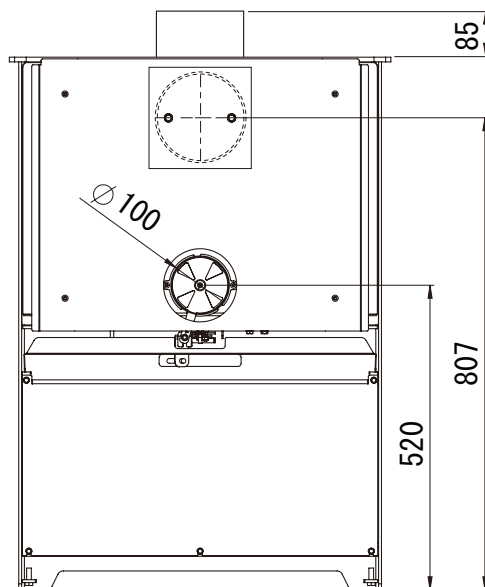
設置計画資料

111 HETA : #5510 インスパニア 55H

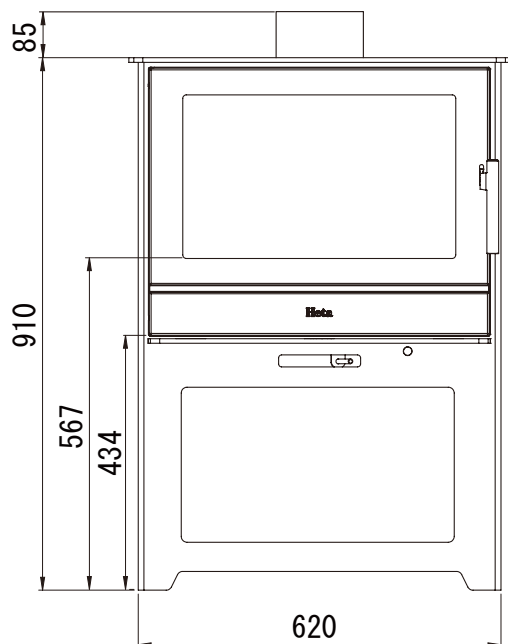
1. 本体図



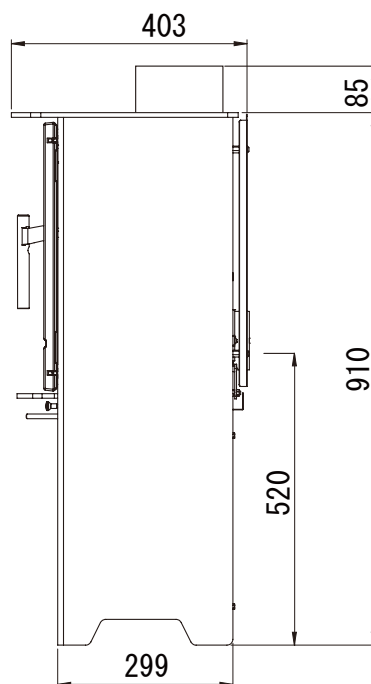
平面図



背面図



正面図



側面図

設置計画資料

111 HETA : #5510 インスパイア 55H

2. 床の保護範囲

前方 M	後方 N	側方 O	幅 P	奥行き Q
848 以上	130 以上	476 以上	952 以上	978 以上

3. 本体離隔距離

3-1 告示 225 号離隔距離（可燃物燃焼部分）

内装制限緩和の告示 225 号に従い、壁、天井を難燃材等（木材含む）の仕上げを施した場合は、下表に示された数値以上の離隔距離を設ける。仕上げと下地が特定不燃材料の場合は除外される。

壁仕上	C	D	F
遮熱板なし	1325	1215	1492
遮熱板あり	529	626	696

前方：アッシュリッブより 1569、遮熱板設置時 523。
上方：フルーカラーより 1092、遮熱板設置時 546。

3-1-1 遮熱板寸法（最小離隔時）

壁に平行設置		コーナー 45 設置	
幅（中心）	高さ（設置面より）	幅	高さ（設置面より）
2320	1615	1675	1620

3-2 メーカー離隔距離

建築基準法施行令の内装制限により、壁、天井を木材等の可燃下地材に準不燃材の仕上げを施した場合、および平屋、最上階など内装制限の規制を受けず、壁の仕上げが木材等の可燃材である場合は下表に示された数値以上の離隔距離を設ける。仕上げと下地が不燃材料の場合は除外される。

壁仕上	煙突垂直接続		
	C	D	F
遮熱板なし	350	746	572
遮熱板あり	280	476	447

○ 遮熱板とは 25mm 以上の空気層のある不燃材壁。

壁仕上	煙突水平接続	
	A	B
遮熱板なし	290	420
遮熱板あり	150	150

○ 煙突水平接続時は、煙突水平距離 500mm 以内とし、断熱二重煙突を使用する。

3-2-1 遮熱板寸法（最小離隔時）

壁に平行設置		コーナー 45 設置	
幅（中心）	高さ（設置面より）	幅	高さ（設置面より）
902	1010	938	1010

前方：アッシュリッブより 1200、上方：フルーカラーより 1000。

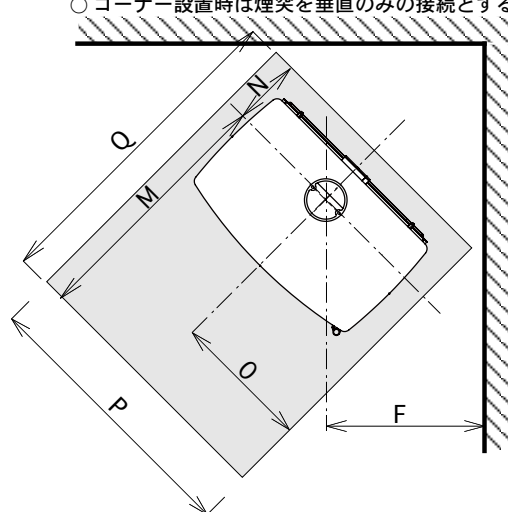
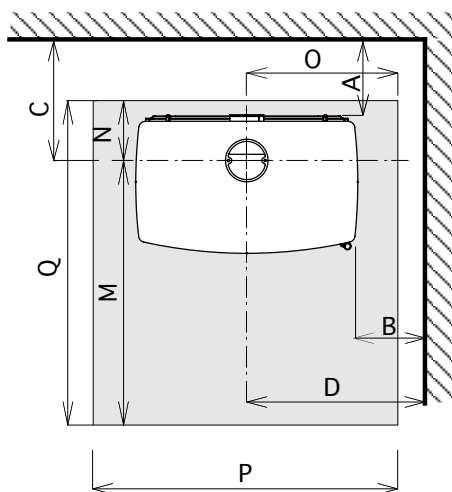
4. 煙突離隔距離

壁仕上	室内煙突	煙突ヒートシールド付き	断熱二重煙突
遮熱板なし	460	230	150
遮熱板あり	—	—	150
天井	460	—	150

○ 断熱二重煙突の離隔距離は内側煙突からの寸法。

○ 最低煙突高さはフルーカラーより 4m。

○ コーナー設置時は煙突を垂直のみの接続とする。



本体離隔距離

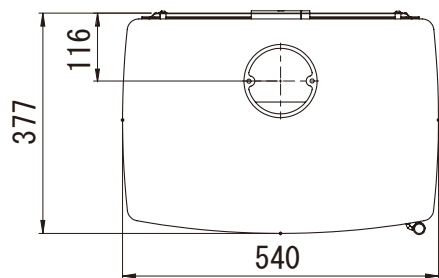
単位：mm

COPYRIGHT 2023.09 BY FIRESIDE COMPANY.LTD.

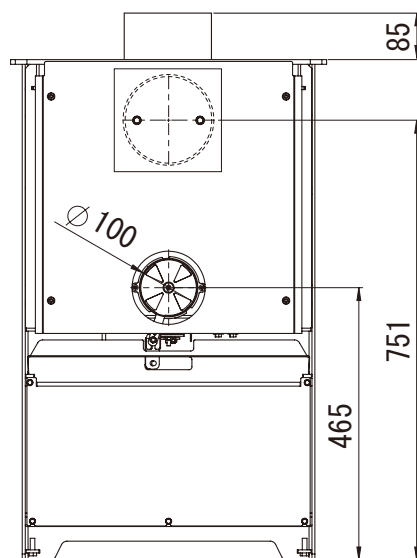
設置計画資料

111 HETA : #4510 インスパニア 45H

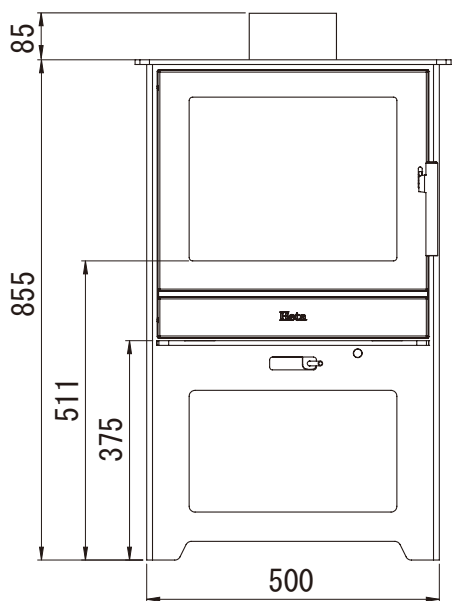
1. 本体図



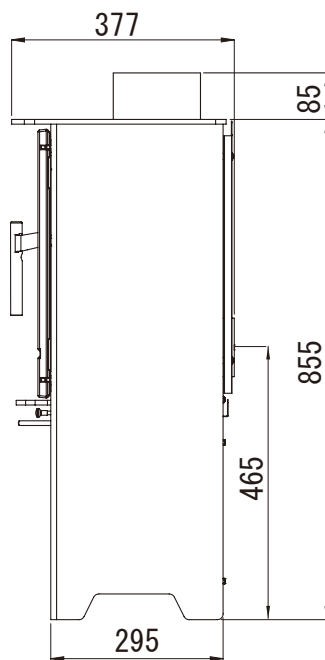
平面図



背面図



正面図



側面図

設置計画資料

111 HETA : #4510 インスパイア 45H

2. 床の保護範囲

前方 M	後方 N	側方 O	幅 P	奥行き Q
736 以上	116 以上	420 以上	840 以上	852 以上

3. 本体離隔距離

3-1 告示 225 号離隔距離（可燃物燃焼部分）

内装制限緩和の告示 225 号に従い、壁、天井を難燃材等（木材含む）の仕上げを施した場合は、下表に示された数値以上の離隔距離を設ける。仕上げと下地が特定不燃材料の場合は除外される。

壁仕上	C	D	F
遮熱板なし	1156	1110	1292
遮熱板あり	463	570	599

前方：アッシュユリッより 1407、遮熱板設置時 469。
上方：フルーカラーより 977、遮熱板設置時 489。

3-1-1 遮熱板寸法（最小離隔時）

壁に平行設置		コーナー 45 設置	
幅（中心）	高さ（設置面より）	幅	高さ（設置面より）
2100	1485	1525	1490

3-2 メーカー離隔距離

建築基準法施行令の内装制限により、壁、天井を木材等の可燃下地材に準不燃材の仕上げを施した場合、および平屋、最上階など内装制限の規制を受けず、壁の仕上げが木材等の可燃材である場合は下表に示された数値以上の離隔距離を設ける。仕上げと下地が不燃材料の場合は除外される。

壁仕上	煙突垂直接続		
	C	D	F
遮熱板なし	311	570	412
遮熱板あり	266	420	402

○ 遮熱板とは 25mm 以上の空気層のある不燃材壁。

壁仕上	煙突水平接続	
	A	B
遮熱板なし	280	300
遮熱板あり	150	150

○ 煙突水平接続時は、煙突水平距離 500mm 以内とし、断熱二重煙突を使用する。

3-2-1 遮熱板寸法（最小離隔時）

壁に平行設置		コーナー 45 設置	
幅（中心）	高さ（設置面より）	幅	高さ（設置面より）
790	955	848	955

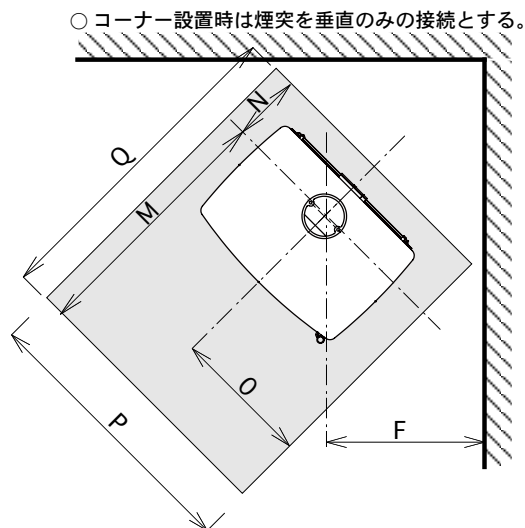
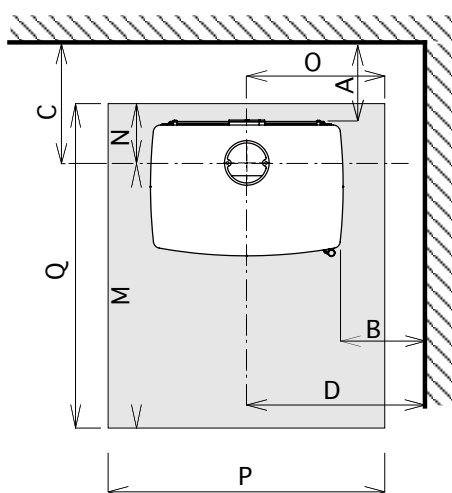
前方：アッシュユリッより 860、上方：フルーカラーより 1000。

4. 煙突離隔距離

壁仕上	室内煙突	煙突ヒートシールド付き	断熱二重煙突
遮熱板なし	460	230	150
遮熱板あり	—	—	150
天井	460	—	150

○ 断熱二重煙突の離隔距離は内側煙突からの寸法。

○ 最低煙突高さはフルーカラーより 4m。



本体離隔距離

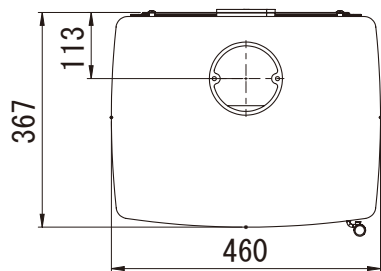
単位：mm

COPYRIGHT 2023.09 BY FIRESIDE COMPANY.LTD.

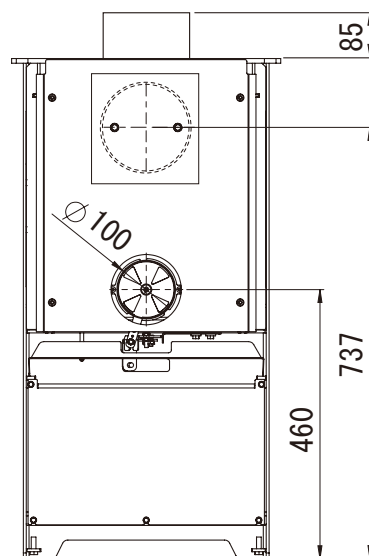
設置計画資料

111 HETA : #4010 インスパニア 40H

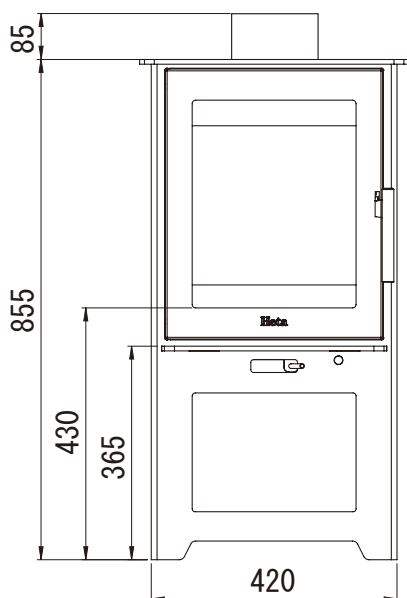
1. 本体図



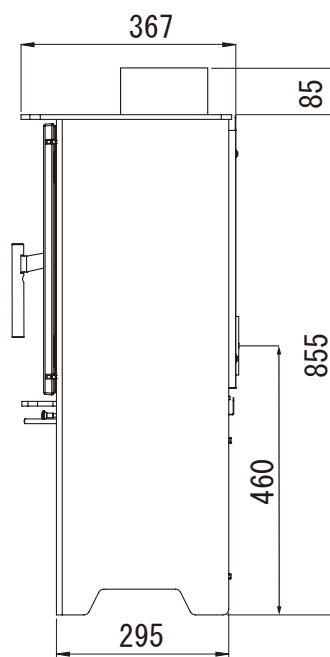
平面図



背面図



正面図



側面図

単位 : mm

COPYRIGHT 2023.09 BY FIRESIDE COMPANY.LTD.

設置計画資料

111 HETA : #4010 インスパイア 40H

2. 床の保護範囲

前方 M	後方 N	側方 O	幅 P	奥行き Q
629 以上	113 以上	380 以上	760 以上	742 以上

3. 本体離隔距離

3-1 告示 225 号離隔距離（可燃物燃焼部分）

内装制限緩和の告示 225 号に従い、壁、天井を難燃材等（木材含む）の仕上げを施した場合は、下表に示された数値以上の離隔距離を設ける。仕上げと下地が特定不燃材料の場合は除外される。

壁仕上	C	D	F
遮熱板なし	1066	1066	1177
遮熱板あり	431	530	542

前方：アッシュユリッより 1302、遮熱板設置時 434。
上方：フルーカラーより 899、遮熱板設置時 450。

3-1-1 遮熱板寸法（最小離隔時）

壁に平行設置		コーナー 45 設置	
幅（中心）	高さ（設置面より）	幅	高さ（設置面より）
2000	1435	1460	1440

3-2 メーカー離隔距離

建築基準法施行令の内装制限により、壁、天井を木材等の可燃下地材に準不燃材の仕上げを施した場合、および平屋、最上階など内装制限の規制を受けず、壁の仕上げが木材等の可燃材である場合は下表に示された数値以上の離隔距離を設ける。仕上げと下地が不燃材料の場合は除外される。

壁仕上	煙突垂直接続		
	C	D	F
遮熱板なし	303	630	384
遮熱板あり	263	380	374

○ 遮熱板とは 25mm 以上の空気層のある不燃材壁。

壁仕上	煙突水平接続	
	A	B
遮熱板なし	280	400
遮熱板あり	150	150

○ 煙突水平接続時は、煙突水平距離 500 mm 以内とし、断熱二重煙突を使用する。

3-2-1 遮熱板寸法（最小離隔時）

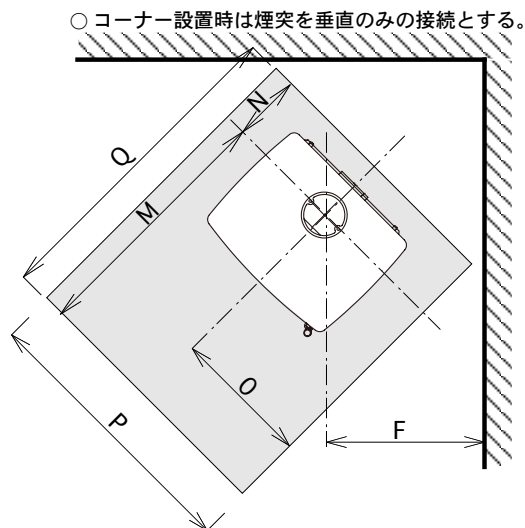
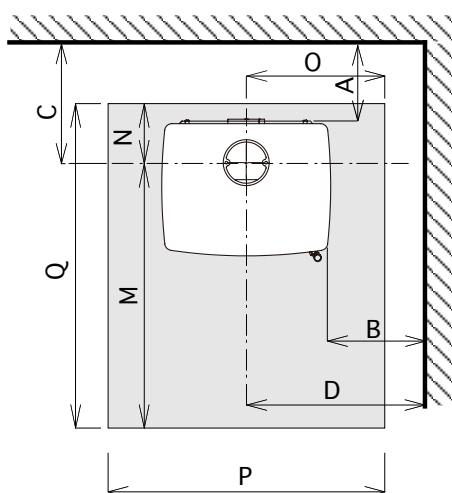
壁に平行設置		コーナー 45 設置	
幅（中心）	高さ（設置面より）	幅	高さ（設置面より）
710	955	792	955

前方：アッシュユリッより 900、上方：フルーカラーより 1000。

4. 煙突離隔距離

壁仕上	室内煙突	煙突ヒートシールド付き	断熱二重煙突
遮熱板なし	460	230	150
遮熱板あり	—	—	150
天井	460	—	150

○ 断熱二重煙突の離隔距離は内側煙突からの寸法。
○ 最低煙突高さはフルーカラーより 4m。



○ コーナー設置時は煙突を垂直のみの接続とする。

本体離隔距離

単位：mm

COPYRIGHT 2023.09 BY FIRESIDE COMPANY.LTD.

